

高遠町の将来から考える総合支所の役割等
研 究 報 告 書

平成31年1月

高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会

目 次

I	高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会について	1
	1 研究委員会の位置づけ	2
	2 開催経過	2
II	各回の研究内容	3
	1 第1回研究委員会	4
	2 第2回研究委員会	1 4
	3 第3回研究委員会	2 6
	4 第4回研究委員会	4 6
	5 第5回研究委員会	5 4
III	研究結果	5 5
	1 私が暮らしたい将来の高遠町	5 6
	2 新たな高遠町総合支所に望むこと(機能・役割など)	5 8
	3 新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等	5 9
	4 研究結果のまとめ	6 2
資料	高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会名簿	

I 高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会について

1 研究委員会の位置づけ

高遠町総合支所の旧庁舎は、耐震性が不足する上に建設から50年余の年月が経過しており、高遠町地域からは、議会等を通じてこれらの課題を速やかに解消する方策を示すよう市に要望がなされた。

これを受け、市では庁内に「総合支所庁舎検討委員会」を設置し、検討結果として、高遠町保健センターへの移転が適当との方針を示したが、高遠町地域では、地域協議会、区長会が中心となり、住民懇談会、「市長と語りた伊那」等を通じて意見を集約する中で、新たな総合支所庁舎の建設を柱とした建議書・要望書を市に提出した。

これに対して、総合支所庁舎の場所、機能など、まずは高遠町地域において広く地域住民の声を聞きながら研究を進められたいとの市からの回答を受け、新たな高遠町総合支所庁舎の建設に向け、将来展望に立った機能や規模、位置等について、広く調査・研究を行うため、高遠町地域協議会に「高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会」を設置し、研究を重ねてきたところである。

2 開催経過

高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会の協議の経過は、次のとおりである。

回	期 日	協議事項	出席者
第1回	7月 3日(火)	・高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会設置に係る経過等について ・総合支所の現況について ・高遠町地域の将来見通し等について	32人
第2回	9月18日(火)	・グループ討議 テーマ①「私が暮らしたい将来の高遠町」 テーマ②新たな高遠町総合支所に望むこと (機能・役割など)	28人
第3回	10月18日(木)	・高遠町地区のまちづくりに係る中学生へのアンケート調査結果報告 ・地域おこし協力隊員杉山祐樹氏による発表	29人
第4回	12月 4日(火)	・グループ討議 テーマ① 新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等	24人
第5回	1月24日(木)	・研究成果の取りまとめ	31人

II 各回の研究内容

1 第1回研究委員会

- 日 時 7月3日(火) 午後6時30分～8時02分
- 場 所 高遠町総合支所 4階大会議室
- 内 容 委員の自己紹介に続き、委員会の設置に係る経過等及びその任務である高遠町総合支所庁舎の建設に向け、将来展望に立った機能や規模、位置等について、広く調査・研究を行うための基本となる以下の資料が事務局から提示され説明がなされた。
 - ・資料1 高遠町総合支所庁舎のあり方検討に係る経過
 - ・資料2 高遠町地域協議会からの建議に対する回答書
 - ・資料3 「高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会」の設置について
 - ・資料4 伊那市内支所・公民館一覧
 - ・資料5 高遠町総合支所職員数
 - ・資料6 伊那市の人口推計(グラフ)
 - ・資料7 市内幹線道路の整備計画

なお、この席で委員から、①高遠町地域の年代別人口構成、②総合支所の合併前後での機能(取扱い業務)の違い、③総合支所の来客数に関する資料の提出が要望され、事務局から後日提示された。

また、委員会の以降の進め方について、先進地視察、将来を担う若者からの意見聴取等が例示されたが、詳細については正副委員長を中心に検討を行うこととし、次回の委員会においては、テーマを設定したうえでグループ討議を実施することとした。

高遠町総合支所庁舎のあり方検討に係る経過

平成 28 年

- ① 6 月定例会 総合支所の耐震化計画についての一般質問
【市長】現庁舎の耐震化、他の市有施設への移転を含め総合支所のあり方について、方針を定める必要がある。
- ② 7 月 ①を受けて、庁内に「総合支所庁舎検討委員会」を設置

平成 29 年

- ① 5/30 高遠町地域協議会・高遠町地区区長会合同会議において、「総合支所庁舎検討委員会」の検討結果を提案【高遠町保健センターへの移転が適当】
- ② 6/ 5 市議会全員協議会説明
- ③ 6/ 市議会 6 月定例会一般質問(平岩議員)
- ④ 6/23 第 3 回高遠町地域協議会
- ⑤ 7/11 住民懇談会(高遠町地域協議会・高遠町地区区長会主催)
- ⑥ 8/ 1 高遠町地域協議会・高遠町地区区長会合同会議
- ⑦ 8/ 9 市政懇談会(市長と語りた伊那)
【市長】「できるだけ早い時期に新たな庁舎を建てたい」
- ⑧ 9/ 市議会 9 月定例会一般質問(平岩議員)
- ⑨ 9/ 5 第 3 回高遠町地域協議会
- ⑩ 9/22 市長へ建議書、要望書の提出
- ⑪ 11/1 市長より建議書に対する回答

平成 30 年

- ① 7/ 3 第 1 回高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会

高遠町地域協議会からの建議に対する回答書

1 現庁舎の課題解決について

耐震性が不足する上に建設から 50 年余の年月が経過して老朽化が進行する現庁舎は、大規模地震等が起きた場合の災害対策拠点にはなり得ません。この課題を早急に解決するために、安心・安全及び利便性に配慮したうえで、総合支所機能を一時的に「高遠町保健センター」に移設し、倒壊の恐れがある現庁舎は取り壊していただきたい。

なお、高遠町保健センターは、あくまで地域住民の健康保持・増進に資するための施設であることに鑑み、移転期間中においても、原則として地域内で健康診断等を実施するとともに、総合支所としての役割を終えた後は、再び本来の役割が担えるよう速やかに施設の復元を行われたい。

【回答】

高遠町総合支所庁舎の抱える課題に対応するため、平成 28 年度に総合支所庁舎のあり方の検討を行い、市民の皆さんの利便性、総合支所としての機能確保などの点から、高遠町保健センター移転の方針として決定しました。

地域住民の皆さんの声をお聞きし、早急に課題への対応が必要なことから、本年度中に改修工事の設計業務委託、翌年度に改修工事を実施し、平成 30 年度中に総合支所機能を保健センターへ移転することとして予定しています。

また現総合支所庁舎の老朽化及び耐震性への対応は喫緊の課題として認識をしておりますが、移転後の除却の時期については、財源等も含め十分な検討を行い実施したいと考えています。

移転期間後の保健センターについては、本来の保健センターとしての役割が担えるよう復旧することを前提に、今回の移転は必要最小限の改修工事を予定しております。

しかし、今後の社会情勢の変化や、なにより実際に利用する市民の皆さんのニーズに十分配慮した上で、今後の方針についても検討していく必要があると考えます。

2 新たな庁舎のあり方の研究・検討及び建設について

新たな庁舎のあり方については、これまでの意見聴取では現地への建替えを望む声が圧倒的に多く、このことは住民の意向として尊重すべきものですが、この際、現地建替えを含め、何よりも社会情勢の変化に対応し、高遠町地域の活性化に資する新たな庁舎の建設を強く望みます。

なお、総合支所は地域住民の安心・安全に関わる重要な行政施設であるとともに、高遠町地域の活性化や盛衰にも影響を与える極めて重要な施設であることから、新たな庁舎のあり方については、現在の総合支所機能を維持したうえで、将来展望に

立った機能や規模、位置について、さらに十分な研究・検討が必要であると考えます。

また、これらの研究・検討は、研究委員会等の設置により、広く地域住民の意見等をくみ上げながら推進するとともに、総合支所機能の一時的な移転と同じく速やかにこれに着手されるようお願いしたい。

【回答】

本年度、開通した小黒川スマートインターチェンジ、平成32年に開通を予定する環状南線などにより、人の流れに大きな変化があると見込まれます。加えてリニアの開通、自動運転の実現なども踏まえ、伊那市の10年後、20年後を見据えた庁舎の議論が必要であり、組織の検討を含めた将来的な展望を考慮した上で、総合的に検討を行い決めていくべきと考えます。

総合支所庁舎の場所、機能など、まずは高遠町地域において広く地域住民の声をお聞きいただき、研究をお願いしたいと考えます。

「高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会」の設置について

1 設 置

高遠町総合支所庁舎の建設に向け、将来展望に立った機能や規模、位置等について、広く調査・研究を行うため、高遠町地域協議会に「高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会」を設置する。

2 組 織

(1) 地域協議会委員	20名
(2) 高遠町5地区区長会	5名
(3) 地区からの推薦(50歳未満)	7名
(高遠3名、河南、長藤、藤澤、三義各1名)	
(4) 市議会議員	2名
(5) 地域協議会の推薦(識見者等)	若干名
計	35名程度

3 任 期

調査・研究が終了するまでの期間(1年間)

4 正副委員長

- (1) 委員長 地域協議会長
- (2) 副委員長 地域協議会副会長、高遠町地区区長会長

5 小委員会

- (1) 委員会に研究推進のための小委員会を設置(10名程度)
- (2) 正副委員長(3名)、地域協議会委員(4名)、地区からの推薦等(3名)

6 その他

研究委員会の任務は、専ら総合支所庁舎の建設等に関する調査・研究であり、庁舎の建設等に関して具体的な方針を決定するものではない。研究終了後の庁舎の建設に向けた組織、進め方等については、あらためて市と協議を行うものとする。

伊那市内支所・公民館一覧

支所・公民館 【区域内人口 6.1】	位 置	設置年月	設置費	敷 地	建 物	職員数	駐車場
高遠町総合支所 【5,700人】	高遠町西高遠 1806番地	昭和41年9月	46,000千円	970.91㎡(うち 借地410.03㎡)	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階、地上4階建 1,706.47㎡	40人 (高遠長谷水道課を除く)	11台
高遠町総合福祉 センター(やますそ) 【5,700人】	高遠町西高遠 1644番地1	昭和45年10月 (改修工事:平成 15年3月)	建設工事費 78,100千円 改修工事費 406,076千円	1,537.58㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造4階建 2,119㎡	1人	20台
長谷総合支所 【1,747人】	長谷溝口 1394番地	昭和34年4月	31,300千円	1,025.45㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 897.94㎡	21人	24台
長谷公民館 【1,747人】	長谷溝口 1188番地1	昭和57年3月 (増改築:平成 17年11月)	116,300千円	4,194㎡	鉄筋コンクリート造2階建 1,228.42㎡	公民館2人	15台
伊那公民館 【30,728人】	中央 5052番地	平成27年10月	706,621千円	4,220.67㎡	鉄筋コンクリート造、鉄骨造2階 建 1,818.0㎡	公民館4人	100台
富県公民館・支所 【3,146人】	富県 6393番地1	平成11年10月	486,762千円	5,009.24㎡	鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建 1,305.36㎡	公民館2人 支所 3人	40台
美篤公民館・支所 【6,744人】	美篤 4999番地1	平成20年3月	567,438千円	4,355.40㎡	鉄筋コンクリート造2階建 1,529.31㎡	公民館2人 支所 3人	80台
手良公民館・支所 【2,237人】	手良沢岡 862番地1	平成28年12月	387,000千円	2,321.82㎡	鉄筋コンクリート造平屋建 902.46㎡	公民館2人 支所 3人	40台
東春近公民館・支所 【5,685人】	東春近 1826番地	平成8年10月	460,234千円	3,432.00㎡	鉄骨造2階建 1,249.27㎡	公民館2人 支所 3人	20台
西箕輪公民館・支所 【6,439人】	西箕輪 4000番地8	平成26年7月	395,840千円	3,500.00㎡	鉄筋コンクリート造平屋建 1,198.3㎡	公民館2人 支所 3人	70台
西春近公民館・支所 【5,978人】	西春近 5138番地1	昭和52年3月 (増改築:平成 16年1月)	122,566千円	2,193.44㎡	鉄骨造2階建 1,311.30㎡	公民館2人 支所 3人	60台

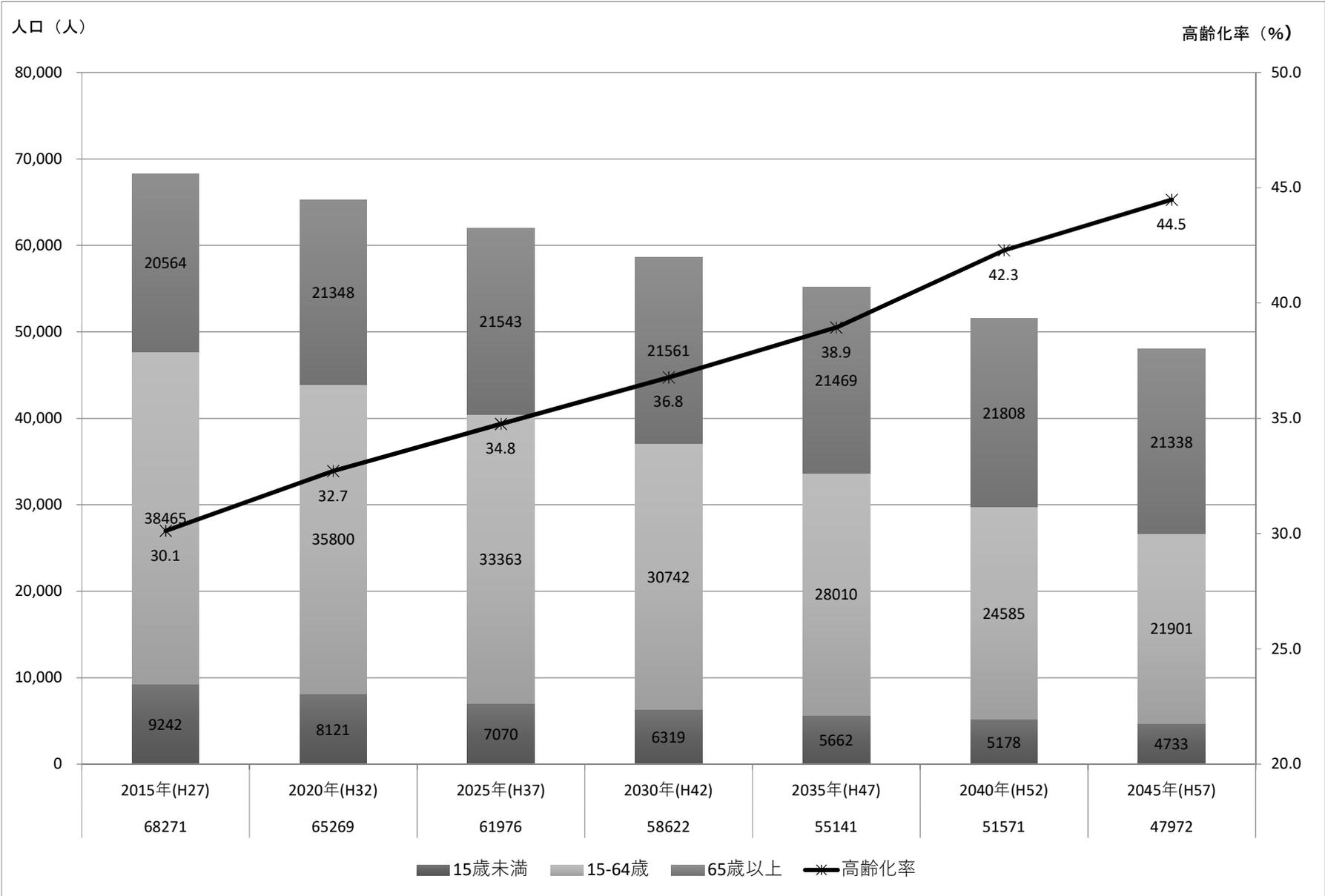
高遠町総合支所職員数

年 月	正 規 職 員 数	
平成 17 年 4 月 (合併前)	1 2 0 人	
平成 18 年 3 月 (合併時)	5 3 人	
平成 23 年 4 月 (合併 5 年後)	4 5 人	
平成 28 年 4 月 (合併 10 年後)	3 8 人 ・ 合併特例法に基づく地域自治区から地方自治法 に基づく地域自治区に改編 ・ 特別職の総合支所長を廃止し、一般職 (部長級) を配置 ・ 5 課を 3 課に統合 ・ 本庁直轄課を新設 (高遠商工観光課)	
平成 30 年 4 月	○総合支所長 ○総務課 ○市民福祉課 ○農林建設課 小計 【本庁直轄課】 ●高遠商工観光課 ●高遠長谷水道課 ●生涯学習課 高遠教育振興係 ●高遠町公民館 小計 合計	1 人 5 人 9 人 (8) 4 人 (3) 1 9 人 (11) 4 人 (1) 4 人 (2) 3 人 1 人 (1) 1 2 人 (4) 3 1 人 (15) () 内非常勤職員

伊那市の人口推計（国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』より）

年 年齢	2015年(H27)			2020年(H32)			2025年(H37)			2030年(H42)			2035年(H47)			2040年(H52)			2045年(H57)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総数	33445	34826	68271	32148	33121	65269	30654	31322	61976	29115	29507	58622	27475	27666	55141	25768	25803	51571	24046	23926	47972
0～4歳	1352	1353	2705	1262	1199	2461	1086	1032	2118	985	936	1921	910	865	1775	828	787	1615	747	710	1457
5～9歳	1594	1508	3102	1315	1299	2614	1230	1154	2384	1060	995	2055	963	903	1866	891	836	1727	813	762	1575
10～14歳	1796	1639	3435	1576	1470	3046	1301	1267	2568	1217	1126	2343	1050	971	2021	954	882	1836	884	817	1701
15～19歳	1501	1468	2969	1513	1368	2881	1329	1227	2556	1098	1057	2155	1026	939	1965	885	810	1695	805	736	1541
20～24歳	1278	1181	2459	1228	1118	2346	1232	1043	2275	1087	934	2021	896	804	1700	837	714	1551	722	615	1337
25～29歳	1548	1377	2925	1457	1253	2710	1414	1194	2608	1424	1121	2545	1262	1006	2268	1042	866	1908	976	771	1747
30～34歳	1709	1607	3316	1541	1371	2912	1465	1257	2722	1428	1203	2631	1431	1134	2565	1282	1020	2302	1060	880	1940
35～39歳	2232	1984	4216	1670	1546	3216	1509	1324	2833	1440	1217	2657	1407	1167	2574	1413	1103	2516	1268	993	2261
40～44歳	2574	2445	5019	2176	1963	4139	1630	1530	3160	1474	1313	2787	1408	1208	2616	1378	1160	2538	1386	1098	2484
45～49歳	2231	2150	4381	2482	2420	4902	2102	1947	4049	1574	1518	3092	1425	1304	2729	1363	1201	2564	1336	1154	2490
50～54歳	2149	2148	4297	2185	2113	4298	2432	2380	4812	2062	1916	3978	1544	1495	3039	1398	1285	2683	1340	1184	2524
55～59歳	2206	2093	4299	2100	2123	4223	2140	2094	4234	2383	2359	4742	2021	1900	3921	1514	1482	2996	1372	1275	2647
60～64歳	2323	2261	4584	2116	2057	4173	2022	2092	4114	2066	2068	4134	2302	2331	4633	1953	1879	3832	1464	1466	2930
65～69歳	2503	2625	5128	2246	2214	4460	2050	2015	4065	1973	2054	4027	2024	2034	4058	2254	2294	4548	1914	1849	3763
70～74歳	2067	2324	4391	2406	2579	4985	2160	2178	4338	1976	1987	3963	1914	2028	3942	1969	2012	3981	2193	2270	4463
75～79歳	1632	2014	3646	1889	2232	4121	2218	2488	4706	1991	2103	4094	1829	1925	3754	1783	1970	3753	1842	1959	3801
80～84歳	1424	1916	3340	1359	1817	3176	1588	2028	3616	1889	2280	4169	1698	1931	3629	1575	1777	3352	1548	1828	3376
85～89歳	927	1619	2546	1006	1521	2527	977	1465	2442	1159	1656	2815	1407	1892	3299	1266	1604	2870	1194	1493	2687
90歳以上	399	1114	1513	621	1458	2079	769	1607	2376	829	1664	2493	958	1829	2787	1183	2121	3304	1182	2066	3248
総人口指数（2015年 = 100）			100			95.6			90.8			85.9			80.8			75.5			70.3
0～14歳			9242			8121			7070			6319			5662			5178			4733
15～64歳			38465			35800			33363			30742			28010			24585			21901
65歳以上			20564			21348			21543			21561			21469			21808			21338
65～74歳			9519			9445			8403			7990			8000			8529			8226
75歳以上			11045			11903			13140			13571			13469			13279			13112
0～14歳割合			13.5			12.4			11.4			10.8			10.3			10.0			9.9
15～64歳割合			56.3			54.8			53.8			52.4			50.8			47.7			45.7
65歳以上割合			30.1			32.7			34.8			36.8			38.9			42.3			44.5
65～74歳割合			13.9			14.5			13.6			13.6			14.5			16.5			17.1
75歳以上割合			16.2			18.2			21.2			23.2			24.4			25.7			27.3

伊那市の人口推計グラフ（年齢3区分及び高齢化率）



市内幹線道路の整備計画

13



2 第2回研究委員会

- 日 時 9月18日(火) 午後6時30分～8時28分
- 場 所 高遠町総合支所 4階大会議室
- 内 容 高遠町総合支所庁舎の建設に向け、将来展望に立った機能や規模、位置等について、広く調査・研究を行うという委員会の任務に照らし、テーマ①として、「私が暮らしたい将来の高遠町」、テーマ②として、新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）を設定し、4グループに分かれて討議を行った。

グループ討議の方法として、ブレインストーミング方式（アイデア発想技法）を採用し、自由で闊達な発想を誘発するために、①自由に発言してもらう、②質よりも量を重視する、③他者の意見を批判しない（判断・結論を出さない）ことを確認したうえで実施した。最後に各グループの討議結果を発表しあい、委員は、さらに多様なアイデア、発想に触れることとなった。



B グループ

テーマ① 私が暮らしたい将来の高遠町

「地域特産品」

- ・特産品の開発
- ・農林業の再興
- ・内藤とうがらしの普及
- ・小学校、中学校 オリジナルの商品があるのでもっとPRを・・・
内藤とうがらし、石工まんじゅう、ラー油

「働き場所産業」

- ・商店・企業が元気な町
- ・休日には買い物でにぎわえる町
- ・他地域からの若い入居者のあっせん
- ・高遠城のメイン通りの活性化、空店舗などの活用
働き場所を増やす、空き家対策、若い人が高遠を離れてもまたもどってこられるような町
例 観光などに力を入れ就職先が充実など・・・

「観光」

- ・通年観光
- ・歴史的遺産をPRし観光面で充実
- ・1年通して観光客が集まる所・施設がほしい
- ・緑や花が多い景観の美しい町
- ・桜の時期以外にも人が訪れてくれる町
- ・観光資源の利活用
- ・各地区のまつりの復興
- ・昔からの歴史を大事にし子供たちにうけつげられたら
おはやし、城址公園、石工、寺などなど
- ・日本屈指の桜の名所である町、城下町宿場町の風情が残る町
- ・152号線をソバ街道に「杖突街道」
- ・音楽や美術陶芸などの芸術活動が盛んな町
- ・高遠町としての行事に住民が喜んで参加できる町
- ・他方から来た方の受け入れ側の対策

「子育て、高齢者の方」

- ・子育てしやすい・・・
伊那市ではなく高遠町ではこんなことがあるよ～
例 出産して1年間は無料で託児のサービスを〇回かうけれるなど・・・
高遠独自の案
- ・子育てし易い
- ・子供や高齢者が生き生きできる町（危険な所・物などの改善）
- ・子育て支援センターと老人憩いの場併設
- ・となり近所での助け合いが自然とできる町
- ・子育てのしやすい魅力ある街に
子育て支援、若者定住のための対策
- ・お年寄りの方が生活しやすい・・・工夫を

車で移動が主なため運転できなくなるなど生活に支障がでてくる・・・
なにか良い工夫があれば・・・

- ・ 結いの町
- ・ 高齢者にやさしい町
特に病院に来る高齢者のための歩道の整備

「自然・災害」

- ・ 自然豊か
- ・ 川の水がすきとおりで飲み水のおいしい町
- ・ 災害の無い

「生活」

- ・ 伊那に出るためのバス
バス代が高いので時間が少ないので高校生などは親の送り迎えするところが多い⇒利用してもらえるように工夫を
- ・ 電車が通ったら嬉しい
- ・ 土日のバスを増便する

テーマ② 新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）

「危機管理」

- ・ラジオが聞こえない
- ・危機対策室
- ・災害対応拠点となる地震に強い庁舎

「住み良いコミュニティー」

- ・事務機能だけでなく町民が集い憩いの場になる機能を備えた庁舎
- ・バリアフリーにする事
- ・老人や若者がコミュニティーできるいこいの場を作って欲しい

「総合機能」

- ・高遠町がさびれなくするには総合支所の役割は行き届いた行政サービスの提供が出来ることである。
- ・総合機能を有す
- ・総合支所としての予算措置がなされていないようだが多少の予算は使えるようにしてほしい、小回りのきく行政をお願いしたい
- ・十分な会議室や多目的ホールを備えた庁舎
- ・「高遠町公民館」という室を作してほしい
- ・移住してきた際もろもろの手続きを高遠町総合支所ですることができるようにお願いしたい
- ・やまずその小会議室が一杯の時の対応として2室程の小会議室を設けて欲しい
- ・遠隔地（三義・藤沢等）の住民に対する手厚い行政が行き届くように配慮してほしい
- ・総合支所ですべて済ませられます様に（届出等）
- ・夜間（21時頃まで）使用出来る自動書類発券機を設けて欲しい
- ・市町村合併問題に匹敵する重要課題であり高遠町民にとっても極めて重要な関心事である、総合支所庁舎についてのことは
- ・受付に地元を良く知る職員を配置
- ・町の組織として今後役を軽減してほしい（地区役員、公民館など）
- ・庁舎はシンボル、町中にあるべき
- ・十分な緑化スペース、駐車スペースを持つ庁舎
- ・高遠の顔となる斬新なデザインの庁舎（周りの景観とマッチしたもの）
- ・桜の名所にふさわしいタカトオコヒガンザクラが沢山植樹された庁舎
- ・西高遠町内にあること
- ・観光案内所を併設した庁舎
- ・位置としては現在位置に、なぜならば医療機関が近いこと、商店の利用が出来やすい、駅に近いなど利用が多い
- ・伊那市の庁舎に遠いので近くに、今まで通りの事務を行える様な人員置をしてほしい

「地元愛」

- ・地元産の木材を沢山使った庁舎

C グループ

テーマ① 私が暮らしたい将来の高遠町

「芸術」

- ・音楽・美術などの芸術活動の盛んな町

「自治」

- ・住民サービスが現状より低下しない町
- ・町内会制度の残る町
- ・住民の意見や要望を聞いてくれる町

「福祉」

- ・福祉の充実（バリアフリー化）
- ・高齢者に優しい町

「労働」

- ・働く場所がほしい
- ・基幹となる企業の誘致
- ・都会だけでなくこの町でも働ける様な若者も集まる職場のある町

「水」

- ・川の流れが美しい町
- ・飲み水のおいしい町

「子育て支援」

- ・バス乗車賃を下げる
- ・子どもが沢山いる町
- ・移住者支援
- ・少子化に歯止めのかかった町
- ・子育てのしやすい町
- ・若者が沢山いる町

「防災」

- ・防災体制の充実
- ・災害のない町

「インフラ」

- ・道路整備、子供達が安心して歩ける広い道路
- ・若者が住みやすい環境（インフラの整備）

「自然・景観」

- ・緑や花の多い景観の美しい町
- ・タカトオコヒガンザクラが咲きほこる桜の名所
- ・城下町や宿場町の風情の残る町
- ・観光の目玉になるような施設

テーマ② 新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）

「観光案内・アピール」

- ・観光案内所の機能
- ・高遠町を全国にアピールする

「移住者支援」

- ・空家バンク制度
- ・移住者を全面的に支援する制度
- ・定住アドバイザー基地機能（移住者支援）

「人にやさしい」

- ・車いすが出入りしやすい施設
- ・2階、3階位の行きやすい場所（昇りやすい）
- ・バリアフリー

「事務手続」

- ・手続きが1か所で行える
- ・現在の総合支所の内容はそのまま
- ・本庁と同等の機能（住民サービス）
- ・時間外手続き一時預かりなどしてほしい（提出物など）
- ・求める手続きが完結にできる

「住民交流」

- ・町民が集い憩いの場になる機能
- ・ロビーなど多目的に使える所
- ・会議室が十分ある
- ・施設が住民が使える
- ・住民が使える喫茶・食堂の機能

「建物外観」

- ・デザイン性の高い高機能建物
- ・主張のあるデザイン。形など、材料など
- ・高遠町の顔となる建物（外観的役割）

「子育て支援」

- ・子育て支援の機能

「災害対応」

- ・災害対応の拠点機能
- ・災害時に十分機能する。設備、広さ
- ・地震に強い建物（免震、制震）
- ・総合支所自体が災害に合わない環境
- ・災害時大勢が避難できるスペースの確保
- ・屋根つきの駐車場（防災面で）
- ・地元出身の職員の配置（防災）

D グループ

テーマ① 私が暮らしたい将来の高遠町

「歴史」

- ・歴史を大事にする所
- ・歴史を活かした観光
- ・通年観光、魅力的な町

「観光」

- ・高遠城址の桜、伸和の丘バラを中心に花の町づくりをする
- ・商店街の開発
- ・ブランド化（観光・歴史・文化）
- ・信州そば発祥の地として高遠そばをPRし知名度を全国的に広める
- ・美味しい物がある所

「文化芸術、フェスイベント話題性」

- ・アート・街
- ・文化芸術が豊かな所
- ・野外フェスの誘致

「自然」

- ・入笠山観光をPRし伊那市側の観光開発も進めてほしい
- ・緑豊かな所
- ・自然、観光、スポット活かす
- ・風景が良い所
- ・自然を生かした生活
- ・豊かな自然を生かしたアウトドア事業への取組

「街部・山間部」

- ・周辺部の立場、中心への偏り、SNSの活用

「仕事」

- ・観光面で荒廃地が多いと印象がわるい。高遠町の農業振興と荒廃地対策
- ・若者の定着
- ・農林業がさかんな所
- ・若者に仕事が必要
- ・高遠町の農業の振興

「人口（住む）」

- ・人口が増加するには
- ・移住者が暮らしやすい
- ・開放的な町
- ・人間関係が豊かなコミュニティー
- ・県内外より移住者に魅力を感じてもらえる街づくり（新山地区のような）
- ・災害に強い
- ・子供達が帰って来る所
- ・子供・高齢者が住みやすい

- ・ 社会保障がゆき届く所
- ・ 移住者が親をよびよせるような町
- ・ 交通の利用を考える高齢者
- ・ 高遠町への移住者多い、移住者の集落への溶け込み？
- ・ 高齢者にやさしい
- ・ 終の住み処として皆が選ぶ所
- ・ 社会的弱者が住み良い所

「子育て」

- ・ 子育てがしたくなる所
- ・ 子育てしやすい環境づくり
- ・ 子連れで遊べる場所が欲しい
- ・ 高遠生通学しやすいバスの運行運賃を望む
- ・ 小児科の誘致

テーマ② 新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）

「窓口」

- ・各書類の発行
- ・各種手続きが支所でできるように

「住民への寄りそい」

- ・本庁舎まで行かず対応できる体制、全ての業務機能が入った庁舎
- ・支所内の各課の連携を充実する
- ・福祉の充実を高める
- ・開放的な場所（入りやすい）
- ・市民の相談窓口
- ・相談しやすい
- ・住民に身近な存在（地元出身）
- ・市役所職員の笑顔（住民はお客様です）

「移住・人」

- ・移住希望者のバックアップ、細かなケア
- ・新規住民へのバックアップ。仕事、住居
- ・空家バンクの充実。移住者への協力

「市民との連帯（まちづくり）」

- ・市民との協働（共同）
- ・町づくり、交流の場
- ・行政への住民の声の反映
- ・企業の誘致
- ・ふれあい農園（都会）への総合支所の支援
- ・総合観光案内所新設（通訳）（外国人観光客に対応して）（SNS活用）
- ・観光情報の発信

「防災」

- ・災害時の本部機能
- ・防災機能

「人口減への対応→各業務」

- ・市報の配布の仕方
- ・配布物の有り方
- ・人口減時代への対応

「その他」

- ・伊那中心部との共有（格差閉じさせる）
- ・場所は消防署付近の小原地区が良い
- ・駐車場を広くとれる場所へ移行、信号も設置する
- ・1階フロアーで全部署を配置し階段を無くす、バリアフリー
- ・コヒガンザクラをイメージした庁舎
- ・合併し10年経過した、本庁的機能減らす、5～6名に減員する
- ・高遠と長谷が統合される可能性ある、総合的に考える

E グループ

テーマ① 私が暮らしたい将来の高遠町

「教育」

- ・教育と文化で全国に発信できる町
- ・子供たちが安心して居られる町
- ・教育文化を大切に

「自然」

- ・自然環境保全の充実した町（人を呼べる町）
- ・大きなソーラー発電が出来ているがイヤ、ステキな田園風景が受け継がれてほしい

「防災」

- ・安全、安心の暮らしが出来る町
- ・防災、減災の充実した町（すぐに対応できること）
- ・災害時の対応。マニュアルの整備
- ・防災面で安心できる町へ

「仕事」

- ・若い人が出ないためにも主力産業を興す
- ・お金がかせげる観光がみつきり活気のある町並がもどれば良いと思う
- ・環境の良さを活かしソフトウェアの開発の中心地にしたい、企業
- ・観光で栄えるのではなく住民が楽しく暮らせるところ

「交通」

- ・交通機関の整備（バス）
- ・長谷と高遠、共同開発
- ・高遠を囲む幹線道路の開通
- ・南アルプスの山梨に抜けるトンネル開通
- ・(都市) 開発されないところ（田んぼ、畑、細い道、山が残っている）

「移住定住」

- ・人口減少が止まり子供がたくさん居る町
- ・若い人を取り入れて高遠自体を若返らせ活性化してほしい
- ・暮らしている人が「ここが良いなあ」と思えるところ。外に出ず、永住できるところ

「交流」

- ・奥高遠にも人、物が集まる所
- ・若者、学生、子供が集まる場所がほしい
- ・子供の声が聞こえる
- ・長谷と相互関係を深めて長期的な観光ビジョンを進め活気ある地域にする
- ・地域に子どもがたくさんいる
- ・共助の町
- ・オープンザドアーで人と人が仲良く
- ・お年寄りの知恵が生かされる場所（みそ作り、おやき作り）

「暮らし」

- ・食料品店が身近にある
- ・町の施設 美術館、図書館、なつかし館、中村家 e t c 町の人が行く
- ・小さなお店が元気な町
- ・町を歩くことが楽しい
- ・カギをかけない町

「医療」

- ・医療や教育が充実した所

テーマ② 新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）

「現状維持」

- ・現状の組織は減らさない（総合はとらない）
- ・人数が減っても今の課係は残したい
- ・今ある機能をはずさない総合支所
- ・現状のままで
- ・今のままの機能で

「一層の充実化」

- ・総合的なアドバイスをしてほしい
- ・ホームページの充実、分かりやすく
- ・防災拠点
- ・教育・文化、推進機能
- ・1Fに交流スペース
- ・市民交流の場作りと推進する機能
- ・若者～お年寄りまでが集う場所
- ・子連れでも集えるスペース
- ・商、工、観の発展推進機能
- ・教育、文化の振興を進める機能
- ・子育て支援センターの併設
- ・保健センター、図書館と併設
- ・総合支所ができた時、図書館をふやしてほしい
- ・移住希望者の窓口に（空き家の把握）

「権限強化」

- ・区、常会の水利土木工事を支援（今以上に）、すみよい地域作り計画の存続
- ・国、県との連絡調整のみでなく「要望」もできる機能
- ・高遠独自の景観に伴う調整機能

「その他」

- ・町のシンボリックな立地へ
- ・もっと北に置いてほしい
- ・高遠町のシンボル
- ・平屋がいい

3 第3回研究委員会

- 日 時 10月18日(木) 午後6時30分～7時45分
- 場 所 高遠町総合支所 4階大会議室
- 内 容 高遠町地区の将来を考えるにあたり、若者の意見を把握するために実施した中学生へのアンケート結果を確認するとともに、高遠町地区のまちづくりの方策について助言をもらうために、地域おこし協力隊員の杉山氏による発表を聴講した。それぞれの概要については、以下のとおりである。

(1) 高遠町地区のまちづくりに係る中学生へのアンケート結果報告

今回のアンケートは、次世代を担う中学生の意見をこれからのまちづくり施策に反映すると共に、アンケートを通じて、高遠町の良いところを再認識してもらうことにより、「自分のふるさと」としての誇りや愛着の気持ちを醸成するために、高遠中学校2学年の生徒を対象に高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会において、実施したものである。

【特徴的な回答結果】

① 高遠町の現状(イメージ)について

○評価の高い項目

- 「美しい山、川、風景があり、自然が豊かである」
- 「昔からある行事など、地域の伝統が大切にされている」
- 「米や野菜を作るなど農業が盛んである」

●評価の低い項目

- 「道路や鉄道、高速道路などが整備されて交通の便が良い」
- 「日常の買い物がしやすく便利である」
- 「自然災害に備える体制が整っている」

② 定住意向について

- 将来も高遠町に住みたいと回答した生徒 43. 2%
- 将来は高遠町に住みたくないと回答した生徒 36. 3%

③ 今後のまちづくりの方向性について

- 「環境にやさしく山や川など美しい自然が守られているまち」
- 「犯罪がなく災害に強い安全なまち」

(2) 地域おこし協力隊員杉山祐樹氏による発表

○少子高齢化社会において必要なこと

＝「安心・充実」と「不安の軽減」これを行政・地域・企業が役割を明確にしつつ、協働で進めることが肝要

○将来を見すえたチャレンジ(とにかくやってみる、失敗を恐れない)

中学生アンケート調査結果

H30年10月

高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会

1 調査概要

(1) 調査目的

次世代を担う中学生の意見をこれからのまちづくり施策に反映すると共に、アンケートを通じて、高遠町の良いところを再認識してもらうことにより、「自分のふるさと」としての誇りや愛着の気持ちを醸成するために実施したものです。

(2) 調査方法

アンケートの対象者	高遠中学校の2学年の生徒
人数	44人
調査方法	学校を通じての配布・回収
調査時期	平成30年8月～9月

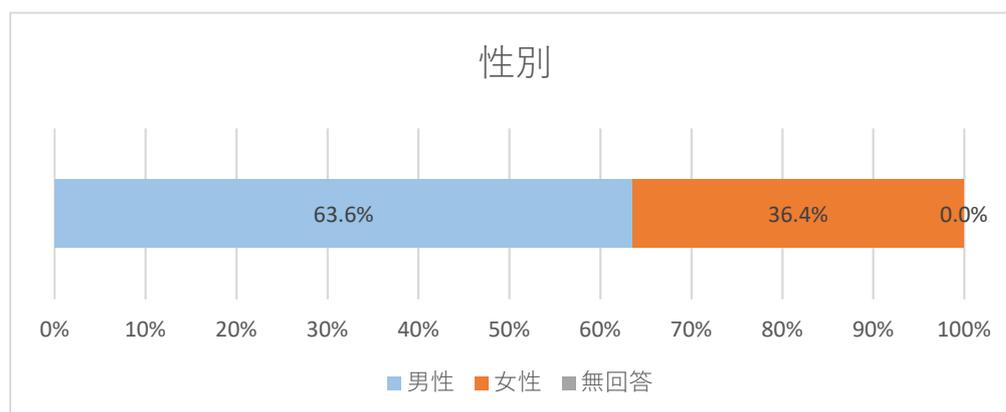
(3) 配布及び回収結果

配布数	44人
有効回答数	44人
有効回答率	100%

2 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が63.6%、「女性」が36.4%となっています。



3 高遠町の現状について

問1 今の高遠町のイメージについて、あなたはどのように感じていますか？

<以下項目ごとに○はひとつ>

【全体の傾向】

「豊かな自然」「地域の伝統」「農業」は評価が高い

「道路・交通」「買い物」「防災」は評価が低い

全18項目について高遠町の現状をたずねたところ、「そう思う」と「少しそう思う」の合計上位3項目は、

「1 美しい山、川、風景があり、自然が豊かである」95.5%

「1 4 昔からある行事など、地域の伝統が大切にされている」86.4%

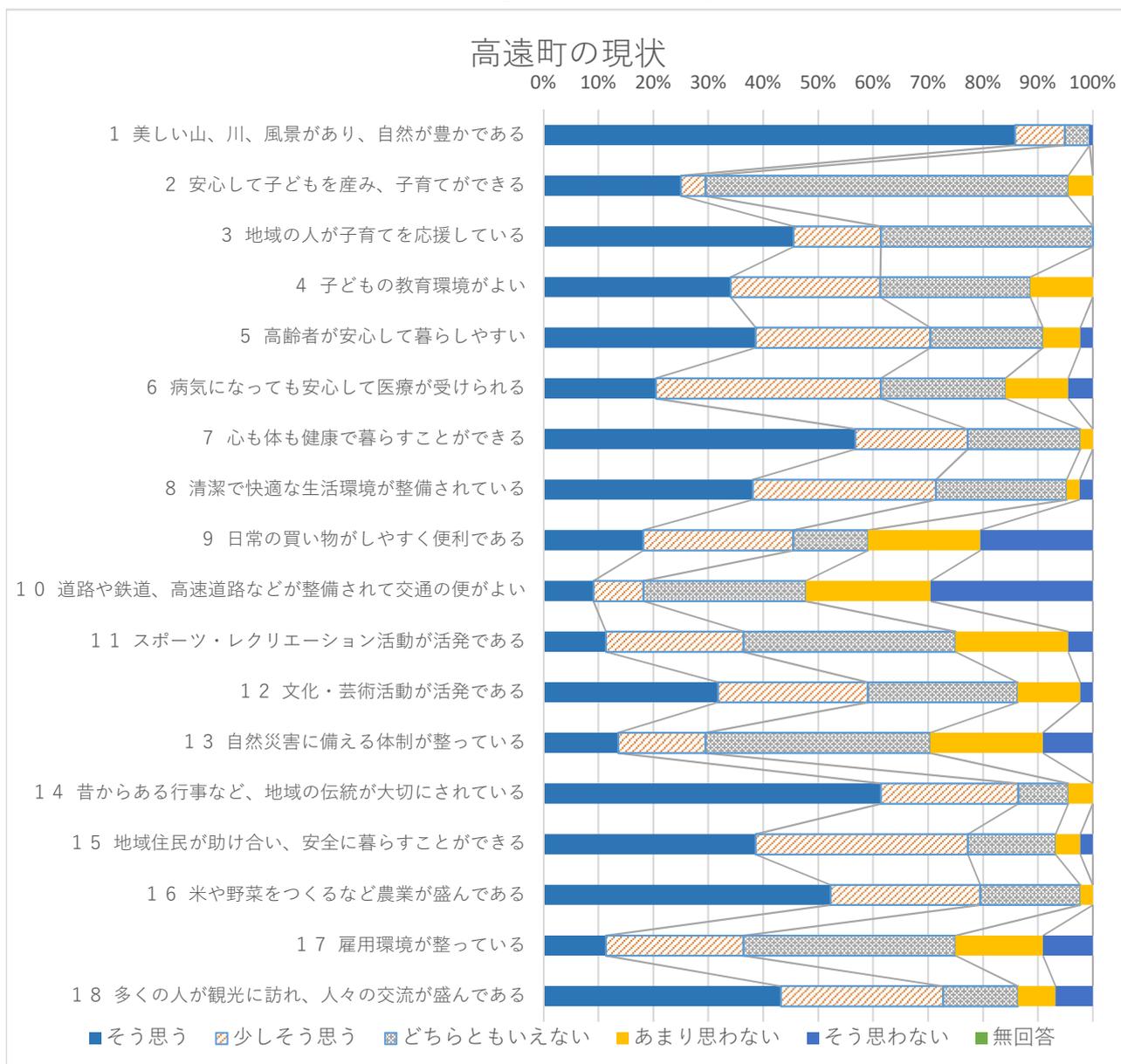
「1 6 米や野菜を作るなど農業が盛んである」79.6% でした。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」の合計上位3項目は、

「1 0 道路や鉄道、高速道路などが整備されて交通の便が良い」52.2%

「9 日常の買い物がしやすく便利である」41.0%

「1 3 自然災害に備える体制が整っている」29.6% でした。



4 愛着度について

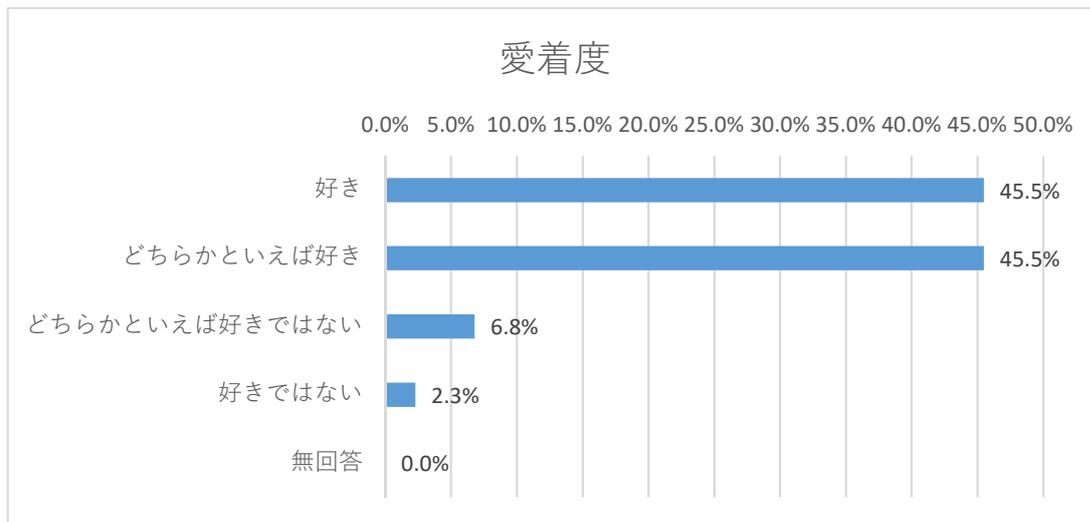
問2 あなたは高遠町のことが好きですか？ <○はひとつ>

【全体の傾向】

全体の91%が”愛着がある”と回答

高遠町の愛着度についてたずねたところ、「好き」45.5%と「どちらかといえば好き」45.5%を合わせた”愛着度の高さ”は91.0%となっています。

一方、「どちらかといえば好きではない」6.8%と「好きではない」2.3%の合計は9.1%で、”愛着がある”割合を大きく下回っています。



【「1好き」の主な理由】

自然が豊かで空気や水がきれいだから。

みんなが遊べるところがたくさんあるから。

地域の方々が優しいから。

美味しいものがあるから。

災害や大きな事件がない。

自分の生まれたところで長く住んでいるから。

セブンイレブンが近くにあるから。

【「2どちらかといえば好き」の主な理由】

自然が豊かで暮らしやすいから。
桜が有名でテレビに映ったりすると嬉しい。
夏は都会よりも涼しい。
都会のような窮屈さがないから。
高遠内のどこにいても不安にならない。
自分の育った所だから。
昔からの文化が受け継がれているから。
緩い感じが好き、普通だから。
店の小ささや交通の便の悪さから。
遊んだり食べたりできる場面が少ない。
都会にも憧れる。

【「3どちらかといえば好きではない」の主な理由】

店が少ない。
坂が多い。
田舎過ぎて行く場所がない。

【「4好きではない」の主な理由】

店が少ない。
空き家が多くて危険。
交通網が少なすぎる。

5 定住意向について

問3 あなたは将来も高遠町に住みたいですか？ <○はひとつ>

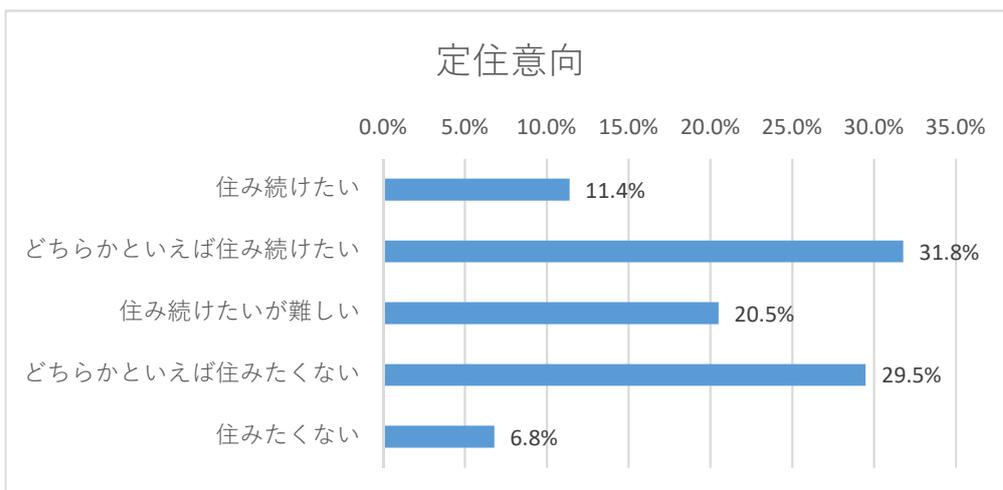
また、そのように思う理由を書いてください。

【全体の傾向】

全体の約40%が”定住意向がある”と回答

今後の定住意向をたずねたところ、「住み続けたい」11.4%と、「どちらかといえば住み続けたい」31.8%を合わせた”定住希望がある”人は43.2%となっています。

一方、「住みたくない」6.8%と、「どちらかといえば住みたくない」29.5%の合計は36.3%で、”定住希望がある”割合をわずかに下回っています。



【「1 住み続けたい」の主な理由】

空気、水などがきれいなので安心して暮らせるから。

あまり他の所へ行きたくない。

学校などがちゃんと建っており歩きで行けるから。

安全だから。

今ある高遠の伝統や文化を守っていきたいから。

【「2 どちらかといえば住み続けたい」の主な理由】

自然が豊かで空気がきれいだから。

自然が多いし東京ともいい距離。

自分が育った場所だから。

田舎で住みやすいところ。

安心するから。

都会は事件など多いが、ここは平和だから。

子供が少なくなってきたからできるだけここに居たい。

移住がしんどい。

あまり離れたところに行くと住みずらそうだから。

いいところがあまりないから。

自分の望む仕事に就きたいが、距離の長さで引っ越しも考えているから。

【「3 住み続けたいが難しい」の主な理由】

お店の数が少ないから不便に感じてしまう。
欲しいものが手に入りにくかったり、働く場所がない。
自分のなりたい職業が高遠にないから。
東京とかに住んでみたいから。電車生活がしてみたい。
住みたいがどうなるかわからない。

【「4 どちらかといえば住みたくない」の主な理由】

不安。
都会の方が色々備わっているから。
高遠とは違う環境でも暮らしてみたいから。
地震による被害が大きそう。
交通の便が悪く店が少ない。
遊べるところがない。年をとったら戻ってきたい。

【「5 住みたくない」の主な理由】

交通網が少なすぎる。
ずっと同じ場所に居たくないから。
汚い。お菓子のゴミや吸い殻などが普通に落ちている。
大阪とかに住みたいから。

6 高遠町の自慢できるものについて

問4 高遠町であなたが自慢できると思うものは何ですか？

物でも人でも場所でも何でも構いません。具体的に書いてください。

タカトオコヒガン桜（33件）

高遠まんじゅう（9件）

空気がきれい、おいしい（7件）

自然（5件）

城址公園（4件）

伝統ある高遠そば（4件）

伊澤修二（3件）

人が優しい（3件）

水がおいしい（2件）

色々が美味い

坂が多く自転車のトレーニングに適している

高遠っていいなと思う

お祭りが多い

近所のお年寄り

店が少ないところが自慢

あまり思いつかない

7 今後のまちづくりの方向性について

問5 あなたは高遠町が将来どのようなまちになることを期待しますか？

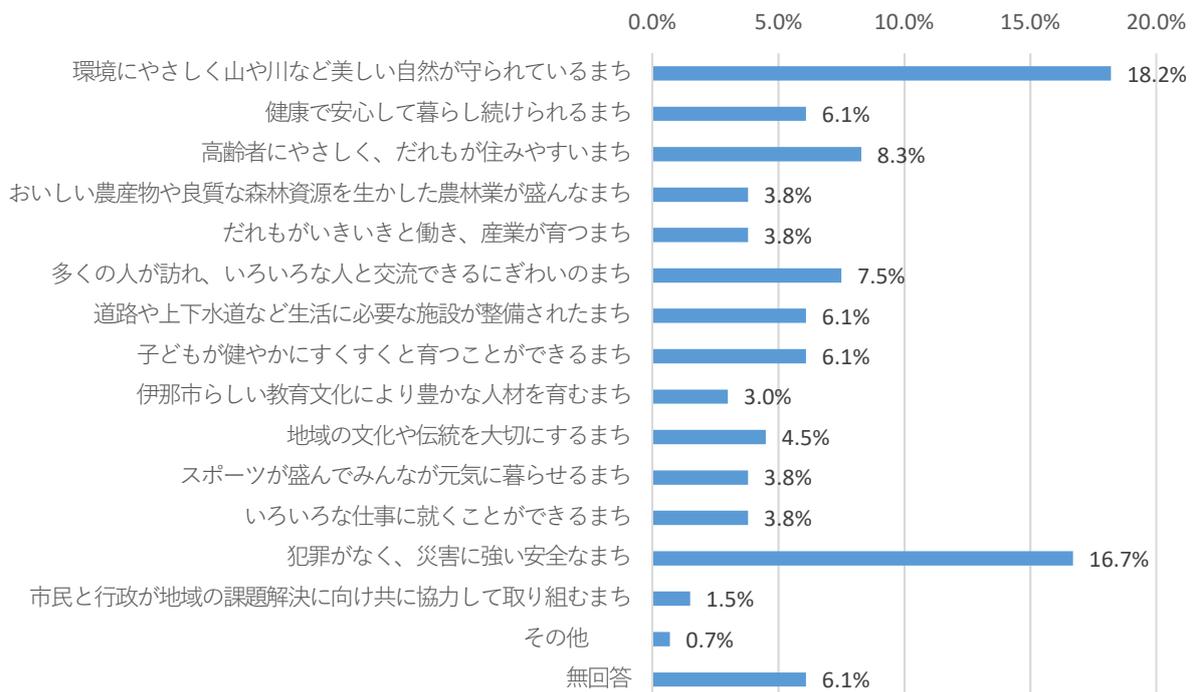
<○は3つまで>

【全体の傾向】

「自然環境の保全」「防災・安全」への関心が高い。

将来のまちづくりの目指す方法性についてたずねたところ、「環境にやさしく山や川など美しい自然が守られているまち」18.2%、「犯罪がなく災害に強い安全なまち」16.7%の2項目への関心が集中しています。

問6 将来のまちづくりの方向性（複数回答）



8 意見の反映方法について

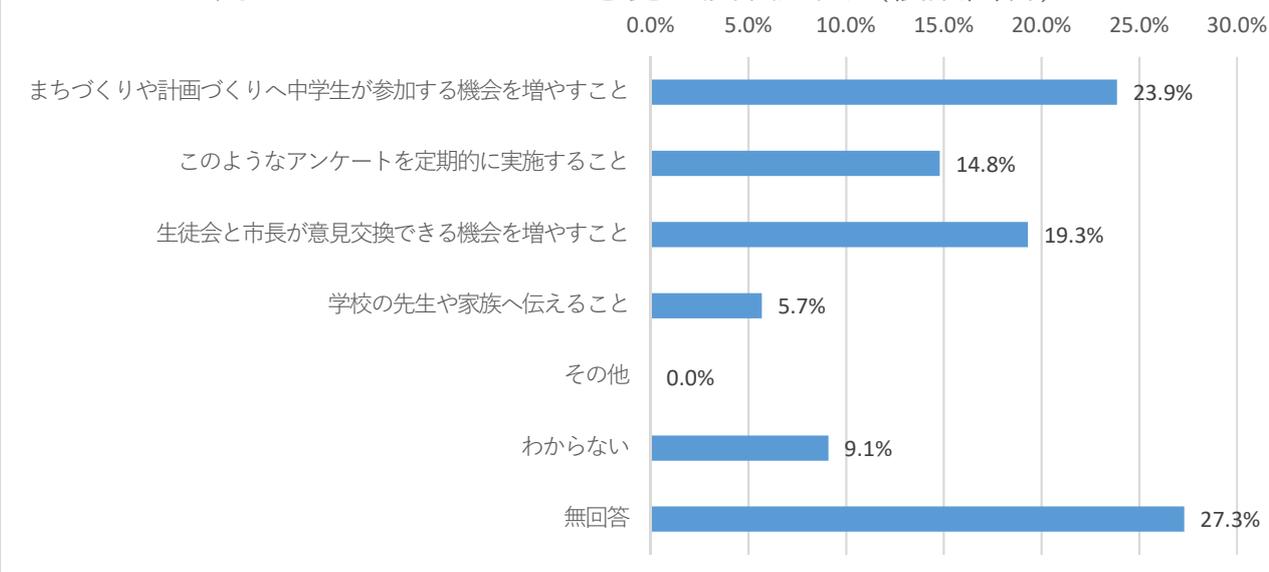
問6 中学生の声を伊那市のまちづくりに生かす方法として、どのようなことが有効だと思いますか？ <○は2つまで>

【全体の傾向】

まちづくりへ自ら参加するという協働の意識が高まりつつある

まちづくり等への意見の反映方法についてたずねたところ「まちづくりや計画づくりへ中学生が参加する機会を増やすこと」23.9%が最も多い結果となり、協働のまちづくりに自主的に参加したいと考える傾向にあることが伺えます。また生徒会と市長が意見交換できる機会を求める声も多くみられます。

問7 まちづくりへの意見の反映方法（複数回答）



9 まちづくりについての要望・意見等

(1) 市への要望や意見

問7 これからあなたやみんなのまちづくりを進めていく上で、市に望むことや意見などを書いてください。

【商工・観光分野】

田舎の方は店が少ないので店をもっと増やして歩いて行けるようになりたい。
お店をかためるのではなく散らばせてほしい。
ショッピングモールを建ててほしい。
買い物の手段を増やしてほしい。
少しゲームセンターとか娯楽の場を増やしてほしい。
中学生が気軽に入りやすい店。
でかいスーパーを造る。
三義、藤沢、長藤のどこかにコンビニがほしい。
高遠に子供の遊べる施設をください。
城下町の電線をなくしても特に意味がない。もっと他のことにお金を使うべき。
高遠特有のもの（桜とか）を伊那市のものみたいに言うのはいかなものかと思う。
桜や自然をこれからも守り続けた方がいい。

【交通・建設】

春になると桜の観光で通行の多い日が続くので、崖などをしっかり整備したほうが良い。
電車を引っ張ってくるか、杖突峠にトンネルを造って交通の便を良くしてほしい。
杖突峠は通るのに酔ったりして大変だからなくしてほしい。
バスがあるのに電車がなくて電車が通ることを望んでいる。
バスの代金が高い。
もっと高遠にバスを通してほしい。自宅の前はバスが通らない。
道を整備してデコボコをなくしてほしい。
冬の小豆坂トンネルのつららを早めに取りしてほしい。
道路の整備（綿半の前の信号機）

【教育・文化・スポーツ】

学校にエアコンを付けてほしい。
学校を新しくしてほしい。
もうちょっと高遠中学校の人数を増やす。
スポーツを盛んにして、オリンピックやプロスポーツ選手が出るような市にしてほしい。
部活がさかんな学校。地域でスポーツ大会。
文化的な祭りの参加を呼びかけ。

【生活環境】

もっと高遠を住みやすく便利な町にしてほしい。
ポイ捨て、最近ゴミが増えているので気を付けた方がいい。

【福祉】

お年寄りが多いので福祉に力を入れてほしい。ベンチの配置や坂道をなくす。

【防災・安全】

事故を少なくする努力をしてほしい。

【その他まちづくり全般】

このままを保ってください。

少子高齢化を防ぐよう呼びかけ。

町民が参加できるような企画をやってほしい。

町民の意見をもっと聞いてほしい。

伊那市内だけで物事が済むようにしてほしい。

発展させるところとさせないところの差がひどい。

もっと高遠にお金をください。

(2) 自分たちができること

問8 これからあなたやみんなのまちづくりを進めていく上で、自分や市民ができると思うことを書いてください。

木を植える作業や、赤い羽根募金など簡単な募金等を設ける。
食べ物などをSNSの口コミで拡散して有名にしていった方がよい。
提案。
高遠市民の方々にアンケートを取って、それを基に出来ることをすればよいと思う。
挨拶をしっかりとる。
町をきれいにする。ゴミ拾い。
自然をほどよく残して発展できるよう市民は協力していく。
ふるさと納税。
ボランティアに参加する。
ポイ捨てをしない。
アンケートを書くこと。
訴えること。
少子高齢化を防ぐといいと思う。
自然を大切にしたい。
市に協力的にする。
分からない。

高遠町総合支所庁舎あり方

研究委員会での発表

2018年10月18日

杉山祐樹

自己紹介

杉山 祐樹（スギヤマユウキ）

1971年（昭和46年）生まれ

47才

埼玉県飯能市出身

約6年間 タバコメーカー勤務
↓
約18年 製薬メーカー、広告代理店など フリーランス契約
↓
2016年1月 株式会社スタイルクロス設立
↓
2016年4月 伊那市地域おこし協力隊
↓
2018年10月 一般社団法人環屋設立

埼玉県飯能市とは？

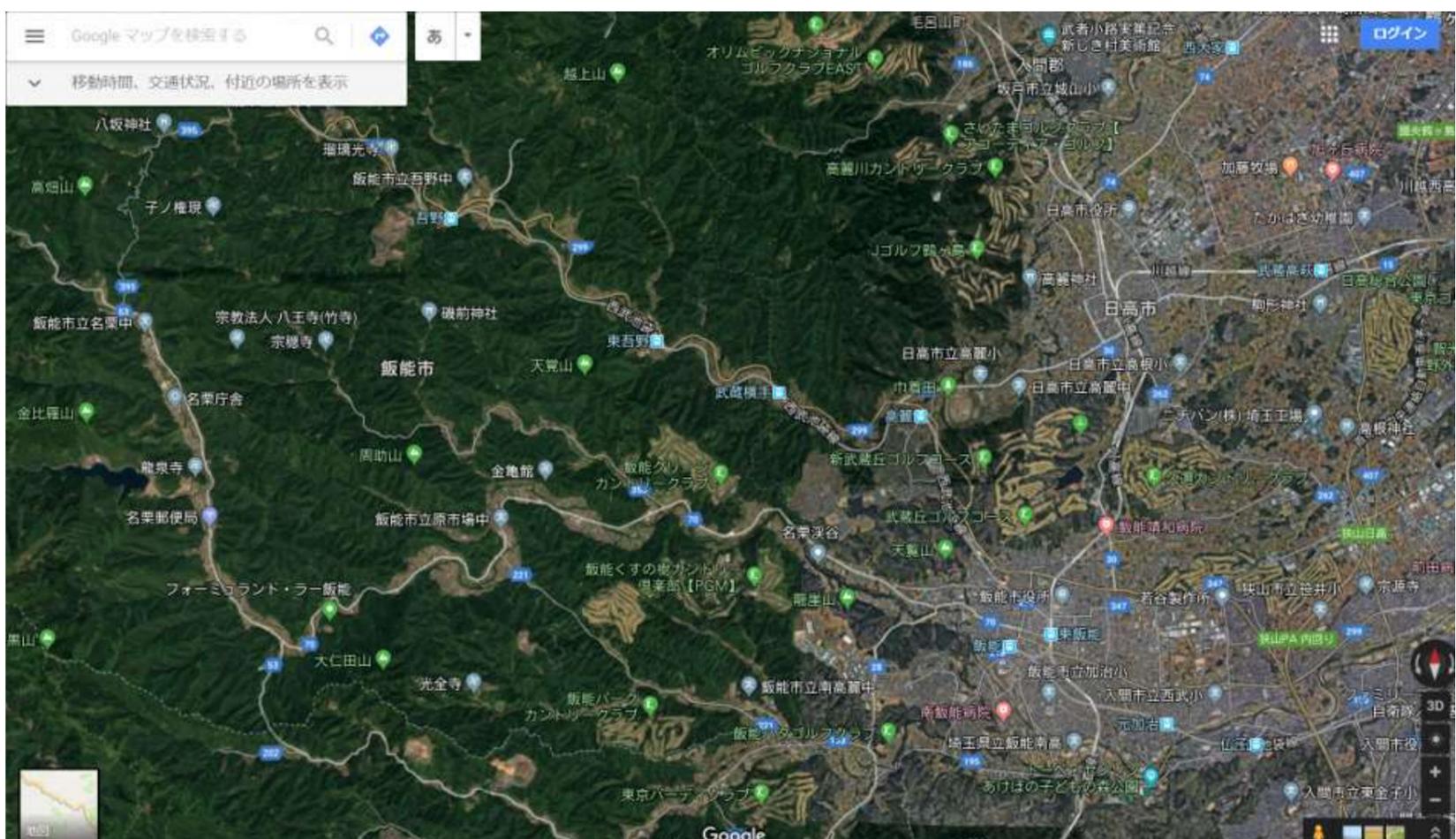
人口 79779人 (平成30年10月1日現在)

森林文化都市 (面積の約76%が山林)

都内 (池袋・新宿) 1時間以内



杉山の故郷



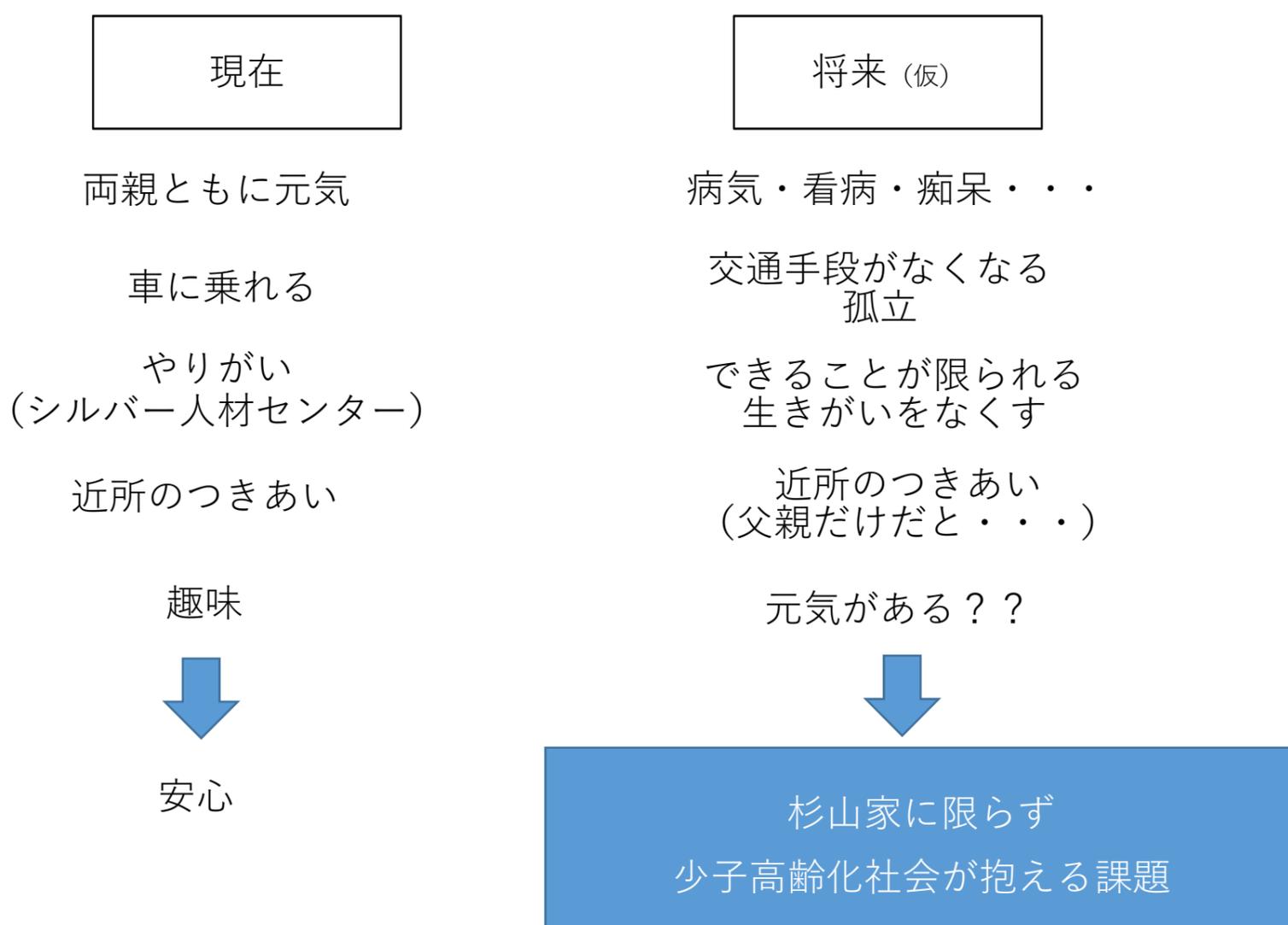
杉山の故郷



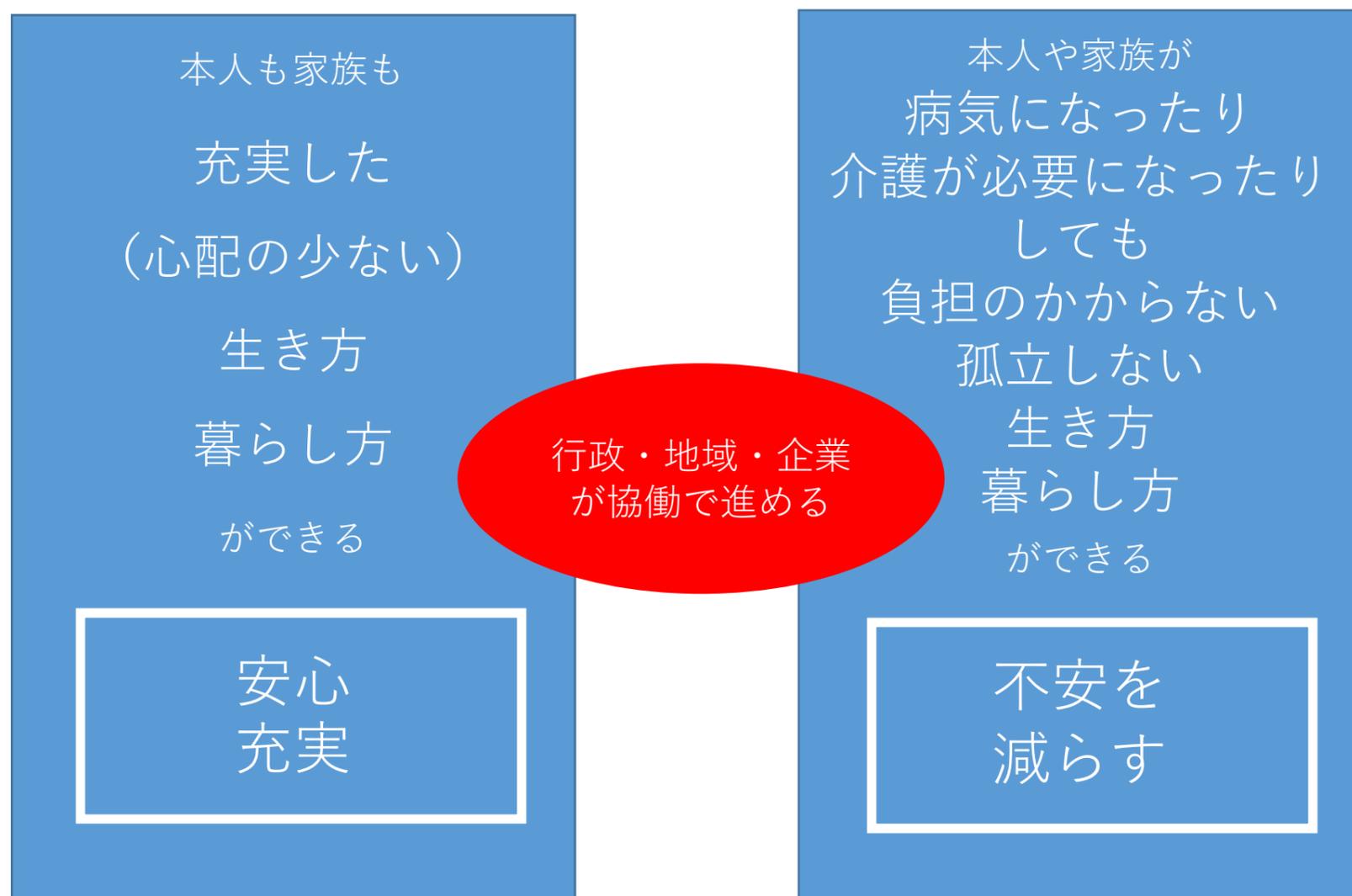
杉山の故郷



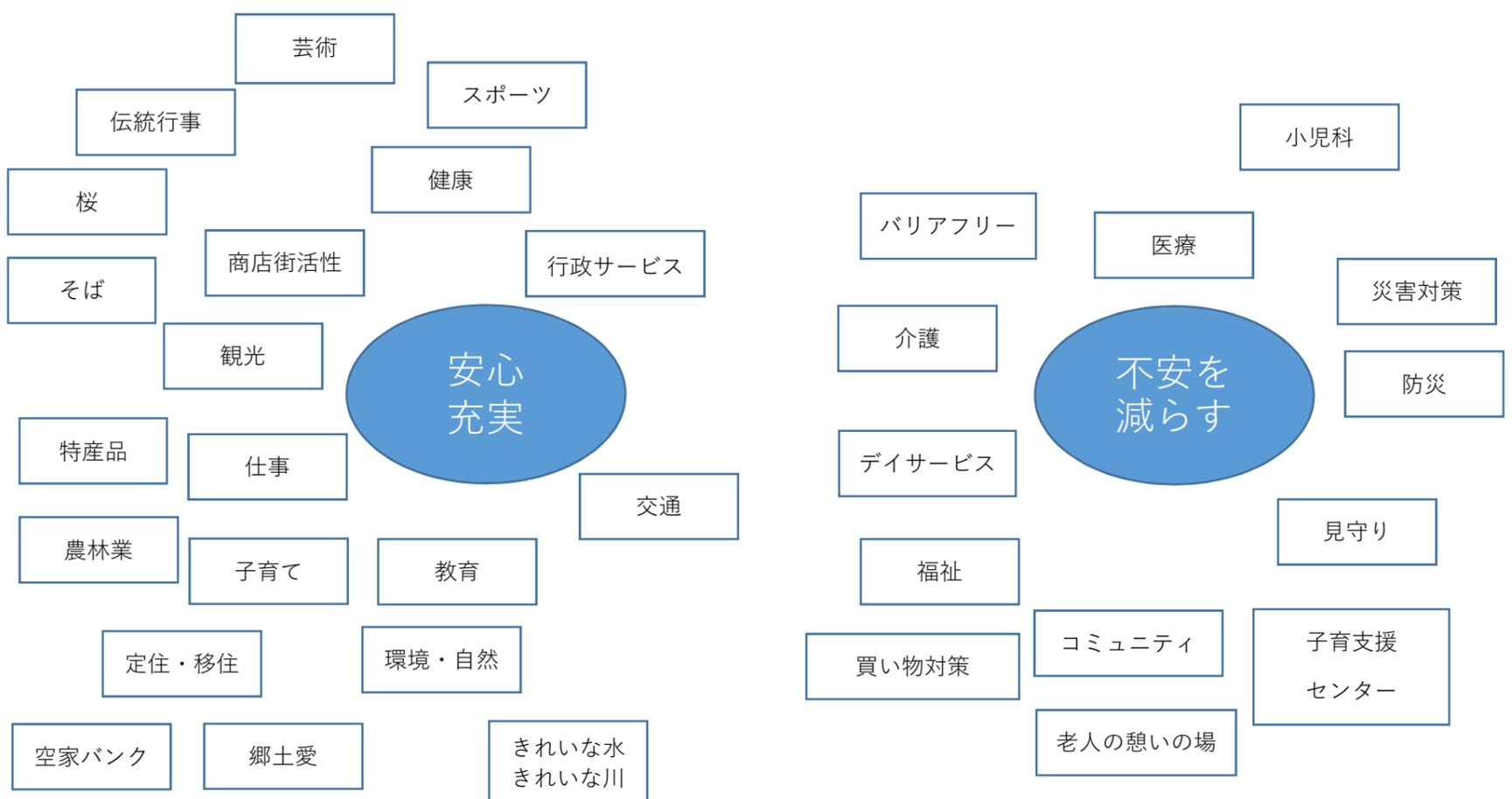
杉山家の現在と将来 (仮)



少子高齢化社会で必要なこと



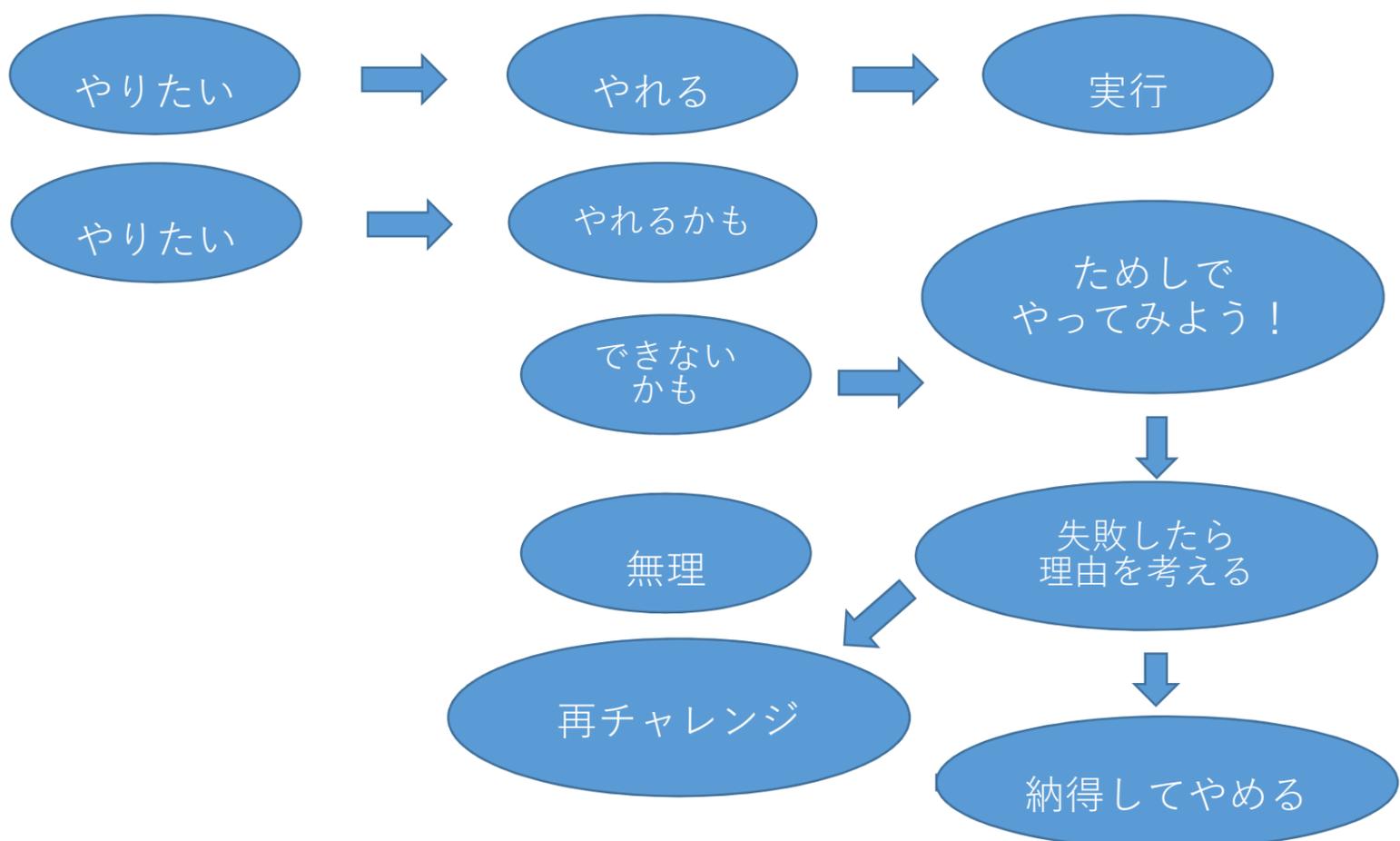
「安心・充実」と「不安を減らす」



誰（行政・地域・企業）がやる（できる）役割分担を明確にする

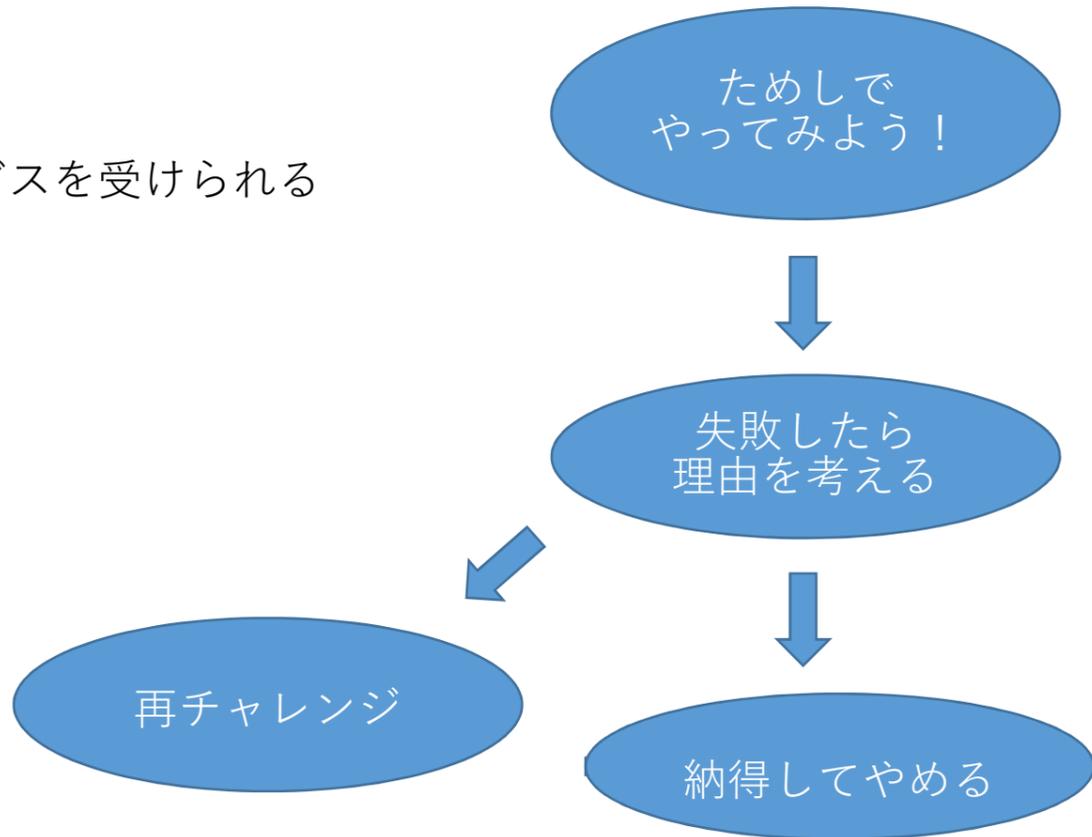
将来を見すえた「チャレンジ」を

誰（行政・地域・企業）がやる（できる）役割分担を明確にする



将来を見すえた「チャレンジ」を

- : 152号線をそば街道に！
- : 土日のバスを増便
- : 音楽フェスの誘致
- : かぎをかけない町
- : すべて1か所でサービスを受けられる



高遠の将来を見すえた過去の「チャレンジ」



4 第4回研究委員会

○日 時 12月4日(火) 午後6時30分～8時07分

○場 所 やますそ 2階会議室

○内 容 第2回目の委員会において討議した「新たな高遠町総合支所に望むこと(機能・役割など)」に基づき、各項目に対応、または親和性があると考えられる「位置・規模・意匠等」について、ブレインストーミング方式で検討を行った。

この際、「位置」については、「旧庁舎」等具体的でも「西高遠」等大まかでもよいこと、「規模」については、「〇〇㎡程度」等具体的でも「旧庁舎と同程度」等大まかでもよいこと、「意匠」(デザイン等)については、「サクラをイメージ」、「城をイメージ」等大まかでもよいことなどを確認したうえで、今回も自由で闊達な発想を誘発するために「自由に発言してもらおう」、「他者の意見を批判しない(判断・結論を出さない)」に配慮して実施した。また、最後にグループごとの発表を行った。



新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等 Bグループ

新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）	位 置	規 模	意 匠 等
<p>「危機管理」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機対策室 ・災害対応の拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応ができる場所 ・危機管理機能は庁舎内に求める ・保健センターは西側に水路があり災害拠点には向かない 		<ul style="list-style-type: none"> ・地震に強い庁舎
<p>「住み良いコミュニティー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務機能だけでなく町民が集い憩いの場になる機能を備えた庁舎 ・老人や若者がコミュニティーできる憩いの場 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道に近い場所(行きやすい) ・駐車場を広くとれる場所(文化センター周辺) 		<ul style="list-style-type: none"> ・建物及び駐車場から建物までのバリアフリー ・社会福祉協議会の事務所を併設
<p>「総合機能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行き届いた行政サービスの提供 ・総合支所としての予算措置、小回りのきく行政 ・移住してきた際の種々の手続きを総合支所で実現 ・届出等が総合支所ですべて済ませられる ・夜間（21時頃まで）使用できる証明書等の発券機の設置 ・遠隔地（三義・藤沢等）の住民に対する手厚い行政サービス ・受付に地元をよく知る職員を配置 ・今までどおりの事務を行える人員配置 ・観光案内所を併設した庁舎 ・医療機関、商店街等を含めた利便性 ・地区役員等の負担を軽減する行政 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地【旧総合支所】またはその周辺(文化センター駐車場の利用、商店街に近い、防災拠点の分散) ・商店街(空き家を活用) ・保健センター ・文化センター ・消防署付近 ・西高遠町内 ・広いスペースが確保できる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合支所機能が実現できる規模 ・JA東部支所程度の規模(2階建て) ・十分な会議室や多目的ホールを備えた庁舎 ・十分な緑化スペース、駐車スペースを持つ庁舎 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの景観とマッチした高遠の顔となる斬新なデザイン ・桜の名所にふさわしいタカトオコヒガンザクラがふんだんに植樹された庁舎 ・地元産の木材を沢山使った庁舎 ・城下町高遠を生かしたデザイン ・全国で話題になるような庁舎(石工、足湯等) ・サクラのピンク色を取り入れた明るい庁舎 ・高遠そば、高遠焼、石工饅頭等の販売、石工酒の開発 ・さくらまつり、もみじまつりに合わせた茶屋 ・エレベーター、地下駐車場 ・「高遠町公民館」の併設

新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等 Cグループ

新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）	位 置	規 模	意 匠 等
<p>「観光案内・アピール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所の機能 ・高遠町を全国にアピールする拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 152 号線沿 ・わかりやすい場所 ・河南地区 ・杖突峠近辺（首都圏からの入口） ・城址公園やアルプスの見える場所 ・駐車スペースが十分とれる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所を置けるスペースを確保 ・観光案内所を兼ねる場合 20-30 人の職員を配置できる規模 ・十分な駐車スペースを確保できる規模 	<ul style="list-style-type: none"> ・斬新な外観デザインの採用 ・敷地内にタカトオコヒガンザクラを植樹 ・地元産材を使用 ・観光案内所は、庁舎入口付近に設置
<p>「移住者支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家バンク制度 ・移住者を全面的に支援する制度 ・定住アドバイザー基地機能（移住者支援） 	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者支援のためのスペースを確保 ・コミュニティスペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者支援を総合的に担う組織体制の確立 ・ホームページ、SNS 等の活用により、定住助成・空家バンク等の制度を PR ・ネット環境の整備
<p>「人にやさしい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすが出入りしやすい施設 ・2階、3階位の行きやすい場所（昇りやすい） ・バリアフリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・起伏の少ない平らな場所 ・循環バスなどが立ち寄りやすい場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす使用者のために、広い駐車スペース、廊下、トイレ、エレベーターを確保できる規模 ・平屋建て 	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラの木に囲まれた建物 ・事務所が一目で見渡せるシンプルな構造 ・滑りにくい床、段差の排除、動きやすい動線の確保等 ・イラスト、絵で庁舎内を案内
<p>「事務手続」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手続きが1か所でできる ・現在の総合支所の内容はそのまま ・本庁と同等の機能（住民サービス） ・時間外手続き一時預かりなどしてほしい（提出物など） ・求める手続きが簡潔にできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が広くとれる町の中心的な場所 ・平屋建ての建物が十分建設できる場所 ・交通の便がよく、渋滞等が発生しにくい場所 ・支所庁舎のほか、長藤、藤沢、三義の各地域に職員を配置し、出張所的な機能を実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務手続きを総合的に行う十分なスペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロアでわかりやすいシンプルなレイアウト ・入口に手続き案内、担当職員を紹介するディスプレイを設置 ・書類の電子化、定型事務の電算化を検討

新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等 Cグループ

新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）	位 置	規 模	意 匠 等
<p>「住民交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民が集い憩いの場になる機能 ・施設が住民が使える機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の高遠町を見据えた場所 ・城址公園のサクラ、山々の四季の変化が見られる場所 ・住民の集まる施設が近くにある場所 ・別の施設を設置できる広さがある場所 ・高遠駅に近く、広い駐車場が確保できる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペース、緑化スペースを十分に確保できる規模（旧総合支所敷地の5倍程度） ・交流の場として広いほどよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、優しい色使い ・住民交流の場となる部屋は全面ガラス張りにして眺望を確保 ・キッズルームの設置 ・十分な会議室 ・支所機能と喫茶・食堂スペースを多目的ロビーで接続
<p>「建物外観」（外観的役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン性の高い高機能建物 ・主張のあるデザイン(形、材料など) ・高遠町の顔となる建物 	<ul style="list-style-type: none"> ・高遠町の顔となるため、幹線道路沿いの目立つ場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・平屋建て 	<ul style="list-style-type: none"> ・城下町、サクラ、アルプスを表現したデザイン ・カラマツ等の地元産材をふんだんに使った建物 ・シンボルツリーの配置 ・子どもが遊べる外庭
<p>「子育て支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の機能 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場(キッズルーム)、学習室、図書室等を確保できる規模 	<ul style="list-style-type: none"> ・床にクッション材を使用するなど、子どもが安全に遊べる施設(保護者はその間に各種の手続きができる)
<p>「災害対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応の拠点機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市域の中心になる位置 ・土砂災害、水害等の危険の少ない場所 ・総合支所が災害に巻き込まれないよう周囲に建物が少ない場所 ・幹線道路沿い ・消防署の近く 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に十分機能する広さを確保できる規模 ・災害時大勢が避難できるスペース、救援物資などを保管しておける地下室、広いロビー等が確保できる規模 ・現地災害対策本部機能を実現できる会議室等を確保できる規模 	<ul style="list-style-type: none"> ・免震、制震工法の採用 ・屋根付きの駐車場 ・地元出身職員の配置

新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等 Dグループ

新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）	位 置	規 模	意 匠 等
<p>「窓口」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各書類の発行 各種手続きが支所でできるように ワンフロアで全部署を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 現在地【旧総合支所】 文化センター周辺 	<ul style="list-style-type: none"> 高遠・長谷の観光案内所を確保 バリアフリーを考慮して2階建て、または駐車場を考慮して3階建て 	<ul style="list-style-type: none"> 高遠城址、サクラをイメージしたデザイン 建物の外から職員の顔等、中が見える開放的なデザイン 現在地【旧総合支所】の場合、駐車場は地下へ
<p>「住民への寄りそい」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本庁舎まで行かず対応できる体制、すべての業務機能が入った庁舎 支所内の各課の連携を充実する 福祉の充実を高める 開放的な場所（入りやすい） 市民の相談窓口 相談しやすい 住民に身近な存在（地元出身） 市役所職員の笑顔（住民はお客様です） 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通が利用しやすい場所 平坦な場所 駐車場を広くとれる場所 観光の拠点となりうる場所 消防署の近く 	<ul style="list-style-type: none"> 支所機能加え、将来的に新たな機能が付与されても対応可能な敷地 平屋建て 避難所等、防災機能を実現できる十分な規模 	<ul style="list-style-type: none"> 住民、観光客等に親しみやすいデザイン 地元産材をふんだんに利用し、木の香りのする空間を創出 バリアフリー
<p>「移住・人」</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住希望者のバックアップ、細かなケア 新規住民へのバックアップ、仕事、住居 空家バンクの充実、移住者への協力 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の接続等、交通の利便のよい場所 土地鑑がなくともわかりやすい場所 駐車場を広くとれる場所 		<ul style="list-style-type: none"> 高遠のイメージを伝えるデザイン 屋上を活用するなどしてコミュニティスペースを確保 子どもからお年寄りまで親しみやすく入りやすいデザイン 初めてでもわかりやすい内部配置、案内 地域の事情に精通した職員の配置

新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等 Dグループ

新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）	位 置	規 模	意 匠 等
<p>「市民との連帯（まちづくり）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働（共同） ・町づくり、交流の場 ・行政への住民の声の反映 ・企業の誘致 ・ふれあい農園（都会）への総合支所の支援 ・まちづくり専門の部署の設置 ・若年層等の声を聴くための SNS の活用 ・有休荒廃地の利用 ・外国人観光客に対応した総合観光案内所新設（通訳、SNS 活用、アプリ） ・観光情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の接続等、交通の利便のよい場所 ・広い駐車場を確保できる場所 ・わかりやすい場所 ・公共交通を利用により城址公園へのアクセスが容易な場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模なイベントができる屋外スペースを確保 ・交流イベント等ができる屋内スペースの確保 ・親の交流、子どもの遊べる場所を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人を受け入れられるバリアフリーを含めたデザイン ・集いたくなるような開放的なデザイン ・催し等を知らせるわかりやすい掲示機能 ・会議室の充実 ・英中韓国語の案内看板の設置 ・サクラの植栽 ・歴史・城・石工等を情報発信
<p>「防災」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の本部機能 ・防災機能 ・支えあいマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・何よりも安全な場所 ・平坦地 		<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの切断に強い建物 ・耐震性が確保された建物
<p>「人口減への対応→各業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報の配布の仕方、配布物の有り方(IT化、IOTへの移行) ・人口減時代への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が近い場所 ・中心市街地 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトな規模 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理がしやすい建物 ・他施設との併設の検討
<p>「その他」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊那中心部との意識の共有（格差感をなくす） ・合併後10年経過したことから本庁的機能を減らす(職員を5～6名に減員) ・高遠と長谷が統合される可能性あることから総合的に考える 			

新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等 Eグループ

新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）	位 置	規 模	意 匠 等
<p>「現状維持」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の組織は減らさない（総合はとらない） ・人数が減っても今の課、係は残したい ・今ある機能をはずさない総合支所 ・現状のままで 			
<p>「一層の充実化」</p> <p>〔・防災拠点</p> <p>〔・市民交流の場作りと推進する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者～お年寄りまでが集う場所 ・子連れでも集えるスペース <p>〔・子育て支援センターの併設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、図書館と併設 ・総合的なアドバイスをしてほしい ・ホームページの充実、分かりやすく ・教育・文化の推進機能 ・商、工、観の発展推進機能 ・教育、文化の振興を進める機能 ・総合支所ができた時、図書館をふやしてほしい ・移住希望者の窓口強化（空き家の把握、精通した職員の配置） 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署または幹線道路の近く ・仙醸駐車場のあたり ・将来的に長谷との統合も考慮できる場所 ・公共交通の利便性がよい場所 ・駐車場を十分とれる場所 ・文化センター、図書館に近い場所 ・文化センター駐車場の北 	<ul style="list-style-type: none"> ・広大な敷地を確保 ・保健センターの床面積を確保できる規模 	<ul style="list-style-type: none"> ・2階建てであれば広いエレベーターが必要

新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等 Eグループ

新たな高遠町総合支所に望むこと（機能・役割など）	位 置	規 模	意 匠 等
<p>「権限強化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区、常会の水利土木工事を支援（今以上に）、すみよい地域作り計画の存続 ・ 国、県との連絡調整のみでなく「要望」もできる機能 ・ 高遠独自の景観に伴う調整機能 			
<p>「その他」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高遠町のシンボルとしての建物機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町のシンボリックな立地へ ・ 現在地【旧総合支所】よりもっと北に配置 ・ 現在地【旧総合支所】 ・ 商店街に人が行ける場所 ・ 観光の拠点となる場所 ・ 南アルプス、城址公園が見える場所 ・ 将来的に長谷と一緒にできる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平屋建て ・ 広い駐車場が確保できる規模 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城を形どった建物（白壁等） ・ 駐車場を含めたバリアフリー

5 第5回研究委員会

- 日 時 1月24日(木) 午後6時30分～7時20分
- 場 所 やますそ 2階会議室
- 内 容 第5回研究委員会に先だち、小委員会において検討が施された研究報告書(案)を基に研究成果の取りまとめを行い、協議の後、研究報告書(案)のとおり承認され、正副委員長が速やかに市長に研究結果の報告を行うことを確認した。

なお、市長への報告後、委員の選出母体、住民への周知を行うとともに、新たな庁舎の建設について具体的な検討が行われる来年度以降についても、住民への細やかな情報提供を求める要望が出された。

III 研究結果

1 私が暮らしたい将来の高遠町

グループ討議において、「私が暮らしたい将来の高遠町」として提案されたキーワードのうち、各グループから多く出されたのは、「自然・景観」、「防災」、「生活(インフラ整備)」、「子育て支援」、「高齢者福祉(医療)」、「産業・働き場所」、「観光」、「移住・定住」であった。

各キーワードの主な内容は、次のとおりである。(詳細は、各グループのまとめを参照)

「自然・景観」

- ・自然が豊かで川の水がきれい
- ・緑と花に囲まれた景観の美しいまち
- ・自然環境の保全への取り組みが充実している

「防災」

- ・災害に強いまち
- ・防災体制が充実している

「生活(インフラ整備)」

- ・公共交通の利便性が高い
- ・幹線道路が整備されている
- ・身近な食料品店、個人商店が立地している

「子育て支援」

- ・高遠町独自の子育て支援策がある
- ・ソフトハード面での子育て環境が整備されている
- ・住民による「助け合い」の風土が醸成されている

「高齢者福祉(医療)」

- ・高齢者が生活しやすい環境が整備されている
- ・医療が充実している
- ・高齢者の知恵が生活に活かされている

「産業・働き場所」

- ・商店、企業が元気
- ・基幹産業を始めとする働き場所が確保されている
- ・農林業の振興が行われている

「観光」

- ・受け入れ態勢が整備され通年観光が成立している
- ・歴史、文化を含めブランド化がなされている
- ・城下町の風情が色濃く残っている

「移住・定住」

- ・移住者が暮らしやすい開放的な場所
- ・子どもがたくさんいるまち
- ・移住者に魅力的なまち

また、この他にも「歴史」、「文化芸術」、「教育」などにおいて、その充実が「私が暮らしたい将来の高遠町」を構成する要素となっている。

2 新たな高遠町総合支所に望むこと(機能・役割など)

グループ討議において、テーマ②として「新たな高遠町総合支所に望むこと(機能・役割など)」を協議した。この際、テーマ①の「私が暮らしたい将来の高遠町」を念頭に、間接的ではあってもこれらを実現するために新たな総合支所にどのような機能・役割を持たせればよいかという視点で検討を行った。

各グループからは、「総合支所機能」、「交流・コミュニティ機能」、「防災・災害対応機能」、「子育て支援機能」、「移住者支援機能」、「観光案内機能」、「高遠町のシンボルとしての機能」等が提案された。

各キーワードの主な内容は、次のとおりである。(詳細は、各グループのまとめを参照)

「総合支所機能」

- ・総合支所としての行政サービスの提供
- ・手続等をワンストップで完結
- ・地域の事情に精通した職員の配置

「交流・コミュニティ機能」

- ・住民の交流、憩いの場所
- ・住民型多目的に利用できる
- ・住民との協働の推進拠点

「防災・災害対応機能」

- ・防災・災害対応の拠点施設

「子育て支援機能」

- ・子育て支援の充実

「移住者支援機能」

- ・移住者支援の拠点
- ・定住アドバイザーの配置

「観光案内機能」

- ・観光案内所の併設
- ・高遠町を内外にアピール

「高遠町のシンボルとしての機能」

3 新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等

第2回目の委員会において討議した「新たな高遠町総合支所に望むこと(機能・役割など)」に基づき、各項目に対応、または親和性があると考えられる「位置・規模・意匠等」について、検討を行った。

総合支所に望む主な機能・役割に対応する位置・規模・意匠等についての提案の概略は次のとおりである。(詳細は、各グループのまとめを参照)

総合支所機能	
位置	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地【旧総合支所】またはその周辺(文化センター駐車場の利用、商店街に近い、防災拠点の分散) ・交通の便がよく、渋滞等が発生しにくい場所 ・商店街(空き家を活用)・保健センター・文化センター・消防署付近 ・西高遠町内・広いスペースが確保できる場所
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・総合支所機能が実現できる規模 ・十分な会議室や多目的ホールを備えた庁舎 ・十分な緑化スペース、駐車スペースを持つ庁舎
意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの景観とマッチした高遠の顔となる斬新なデザイン ・桜の名所にふさわしいタカトオコヒガンザクラがふんだんに植樹された庁舎 ・地元産の木材を沢山使った庁舎 ・城下町高遠を生かしたデザイン ・全国で話題になるような庁舎(石工、足湯等) ・サクラのピンク色を取り入れた明るい庁舎 ・高遠そば、高遠焼、石工饅頭等の販売、石工酒の開発 ・さくらまつり、もみじまつりに合わせた茶屋
交流・コミュニティ機能	
位置	<ul style="list-style-type: none"> ・国道に近い場所 ・駐車場を広くとれる場所(文化センター周辺) ・将来の高遠町を見据えた場所 ・城址公園のサクラ、山々の四季の変化を見られる場所 ・住民の集まる施設が近くにある場所 ・別の施設を設置できる広さがある場所 ・高遠駅に近く、広い駐車場が確保できる場所 ・公共交通機関の接続等、交通の利便のよい場所 ・わかりやすい場所 ・公共交通を利用により城址公園へのアクセスが容易な場所
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペース、緑化スペースを十分に確保できる規模 ・交流の場として広いほどよい

	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模なイベントができる屋外スペースを確保 ・交流イベント等ができる屋内スペースを確保 ・親の交流、子どもの遊べる場所を確保
意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・建物及び駐車場から建物までのバリアフリー ・明るく、優しい色使い ・住民交流の場となる部屋は全面ガラス張りにして眺望を確保 ・キッズルームの設置 ・集いたくなるような開放的なデザイン ・催し等を知らせるわかりやすい掲示機能 ・会議室の充実 ・英中韓国語の案内看板の設置 ・サクラの植栽 ・歴史・城・石工等を情報発信
防災・災害対応機能	
位置	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応ができる場所 ・土砂災害、水害等の危険の少ない場所 ・総合支所が災害に巻き込まれないよう周囲に建物が少ない平坦な場所 ・幹線道路沿い・消防署の近く
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に十分機能する広さを確保できる規模 ・災害時大勢が避難できるスペース、救援物資などを保管しておける地下室、広いロビー等が確保できる規模 ・現地災害対策本部機能を実現できる会議室等を確保できる規模
意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・地震に強い庁舎 ・免震、制震工法の採用 ・インフラの切断に強い建物 ・屋根つきの駐車場
子育て支援機能	
位置	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター、保健センター、図書館との併設ができる場所
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の床面積を確保できる規模 ・子どもの遊び場、学習室、図書室等を確保できる規模
意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安全に遊べる造作等
移住者支援機能	
位置	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外・公共交通機関の接続等、交通の利便のよい場所 ・土地鑑がなくともわかりやすい場所 ・駐車場を広くとれる場所
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者支援のためのスペースを確保 ・コミュニティスペースの確保
意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者支援を総合的に担う組織体制の確立

	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS等の活用により、定住助成・空家バンク等の制度をPR ・ネット環境の整備・高遠のイメージを伝えるデザイン ・屋上を活用するなどしてコミュニティスペースを確保 ・子どもからお年寄りまで親しみやすく入りやすいデザイン ・初めてでもわかりやすい内部配置、案内
観光案内機能	
位置	<ul style="list-style-type: none"> ・国道152号線沿 ・わかりやすい場所 ・河南地区 ・杖突峠近辺(首都圏からの入口) ・城址公園やアルプスの見える場所 ・駐車スペースが十分とれる場所
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所を置けるスペースを確保 ・十分な駐車スペースを確保できる規模
意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・斬新な外観デザインの採用 ・敷地内にタカトオコヒガンザクラを植樹 ・地元産材を使用 ・観光案内所は、庁舎入口付近に設置
高遠町のシンボルとしての機能	
位置	<ul style="list-style-type: none"> ・町のシンボリックな立地へ ・高遠町の顔となるため、幹線道路沿いの目立つ場所 ・現在地【旧総合支所】よりもっと北に配置 ・現在地【旧総合支所】 ・商店街に人が行ける場所 ・観光の拠点となる場所 ・南アルプス、城址公園が見える場所 ・将来的に長谷と一緒にできる場所
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・平屋建て ・広い駐車場が確保できる規模
意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・城を形どった建物(白壁等) ・駐車場を含めたバリアフリー ・城下町、サクラ、アルプスを表現したデザイン ・カラマツ等の地元産材をふんだんに使った建物

4 研究結果のまとめ

研究委員会では、新たな高遠町総合支所庁舎の建設に向け、将来展望に立った機能・役割や位置・規模・意匠等について、全5回の委員会を開催し、調査・研究を行ってきた。

将来展望に立つという点では、「私が暮らしたい将来の高遠町」のテーマで行ったグループ討議において、「自然・景観」、「防災」、「生活(インフラ整備)」、「子育て支援」、「高齢者福祉(医療)」、「産業・働き場所」、「観光」、「移住・定住」をはじめ、「歴史」、「文化芸術」、「教育」などの分野において、その充実、推進が「私が暮らしたい将来の高遠町」を構成する要素となっている。

これはまさに伊那市が暮らしやすく住みやすい夢のある「地方都市のモデル」として輝き、子どもからお年寄りまですべての住民が共生する社会の具現化であり、同時に「伊那に生きる、ここに暮らし続ける」を実現するために、高遠町のかげがえのない財産である自然と歴史・文化が保全、継承され、少子高齢化が進行した社会においても住民一人一人が高遠町に誇りを持ち、そこに暮らしながら生きがいを感じ、安心・安全に日々の暮らしを営むことができるまちこそが将来の高遠町の理想であることを示している。

新たな総合支所の機能・役割の面においては、「私が暮らしたい将来の高遠町」を念頭に議論を試み、その帰結として現在の総合支所機能を維持したうえで、住民が気軽に利用することができ、協働を推進する交流・コミュニティ施設としての基本的な位置づけ、さらに「防災・災害対応機能」、「子育て支援機能」、「移住者支援機能」、「観光案内機能」、「高遠町のシンボルとしての機能」等を付加した総合施設としての機能・役割が望まれるところである。

なお、これらの機能・役割に対応、または親和性がある新たな総合支所の位置・規模・意匠等についての研究結果は、「Ⅲ 3 新たな高遠町総合支所の位置・規模・意匠等」を参照されたい。

研究委員会としての調査・研究結果は以上のとおりであるが、市におかれては、この報告書を通じて、高遠町地区住民の新たな総合支所庁舎建設に対する真摯な思いをご理解いただくとともに新たな総合支所庁舎建設の参考としていただきたい。

また、高遠町総合支所庁舎の一日も早い建設に向け、速やかに具体的な検討に着手され、広く地域住民の意見等を汲み上げながら推進いただくことをお願いし、報告書の結びとさせていただきます。

高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会名簿

所属		氏名	性別	住 所	備考	小委員会
地域協議会委員	1	西村 清昭	男	高遠町西高遠	副委員長	○
	2	伊藤 哲雄	男	高遠町西高遠		
	3	北原 将充	男	高遠町長藤		○
	4	北原 房子	女	高遠町山室		
	5	伊藤 岩雄	男	高遠町藤澤	委員長	○
	6	西村 博	男	高遠町上山田		
	7	北村 英幸	男	高遠町勝間		
	8	大塚 治男	男	高遠町山室		
	9	武井 隆子	女	高遠町小原		
	10	竹松 陽洋	男	高遠町西高遠		
	11	保科 浩一	男	高遠町藤澤		
	12	矢澤 清子	女	高遠町長藤		
	13	安井 かほる	女	高遠町西高遠		○
	14	黒河内 俊	男	高遠町西高遠	副委員長	○
	15	浦野 真吾	男	高遠町勝間		
	16	西村 一則	男	高遠町上山田		
	17	湯澤 正江	女	高遠町下山田		○
	18	守屋 臣介	男	高遠町藤澤		
	19	伊藤 茂	男	高遠町下山田		
	20	今枝 一	男	高遠町藤沢		○
区長会	21	守屋 勉	男	高遠町西高遠	高遠地区副会長	
	22	赤羽 久人	男	高遠町長藤	長藤区長	
	23	北原 昭男	男	高遠町山室	三義区長	
	24	池上 洋一郎	男	高遠町藤澤	藤澤区長	
	25	上條 洋一	男	高遠町上山田	河南地区会長	
地区推薦	26	河原崎 貴	男	高遠町東高遠	高遠地区	
	27	井口 公司	男	高遠町西高遠	〃	
	28	伊東 洋明	男	高遠町西高遠	〃	
	29	古旗 寛	男	高遠町小原	河南地区	○
	30	伊藤 善夫	男	高遠町長藤	長藤地区	○
	31	秋山 恭子	女	高遠町藤沢	藤澤地区	
	32	青木 春奈	女	高遠町山室	三義地区	○
市議	33	飯島 進	男	高遠町西高遠		
	34	宮原 英幸	男	高遠町勝間		
識見者	35	杉山 祐樹	男	高遠町小原		